

付テ大體ノ御報告ヲ申上ゲタイト存ジマス。

第一ニ上リマシタ質問ハ豫算關係ニ付テアリマス、御承知ノ如ク第四十七議會ニ提出セラレマシタ所ノ復興豫算ハ多大ノ削減ヲ被リマシタ、其ノ趣旨トスル所ハ土地區劃ハ國デ爲スヨリモ、公共團體ニ委託シテ爲サシメタ方ガ適當デアラウト云フ理由ニ依リマシテ、之ニ伴フ豫算ヲ削除サレマシタル關係上、一億六百三十四萬圓ト云フ多大ナル金額ノ削除ガ行ハレマシタ、從ツテ横濱ノ部ノ委員會ニ於キマシテハ、東京ノ部ノ委員會ニ於テモ同様デアリマスガ、國デ施行スベキ豫算ノ中ニモ矢張區劃整理ノ趣旨ヲ以テ行フデアリマス、又區劃整理ヲ行ハナケレバ吾々ニ委託サレテ居ル所ノ計畫案ト云フモノモ其ノ趣旨ヲ徹底シナイコトニナリマスノデ、將來區劃整理ニ對シ國ニ付テ政府ノ執ルベキ決心ハドウ云フ點ニ在ルカト云フコトノ質問ガ先ヅ第一ニ起ツタノデアリマス。

之ニ對シテ當局ノ御説明ハ、議會ノ削除ニ依リマシテ、復興事業ノ施行上其ノ目的ヲ貫徹スルニ付テ非常ナル困難ニ陥ツテ居ル、故ニ當初ノ計畫ヲ遂行スル爲ニハ如何ニスレバ良イカド云フコトヲ考慮ノ結果、議會ノ修正ナルモノハ是ハ事柄ヲ否認シタノデナクシテ、仕事ノ施行者ノ國デアツタモノヲ、之ヲ自治團體ニ歸スト云フ精神ニ其ノ基礎ヲ置イテ居ルモノデアルト云フ解釋

ノ下ニ、此區劃整理ナルモノハ必要已ムヲ得ザル理由ノ存スルモノデアリマスカラ、之ニ對シテ政府ハ緊急ノ處置ヲ執ル積リデアル又緊急ノ處置ヲ執ツテ、其金ノ支出ヲ得タ場合ニ於テモ國ノ仕事ト市デ致シマスル仕事ト互ニ相錯綜シテ居ルノデアリマスカラ、此間ノ按配ヲ如何ニスルカ、所謂法律第三十七號ヲ適用シマシテ、仕事ヲ國ガ引上ゲテ致シマスルカ、或ハ市カラ國ニ委託シタ形式ニ於テ仕事ヲ進行サシテ行クカ、孰レカノ方法ニ依ルヨリ仕方ガナイト云フ政府ノ考デアルカラ、政府ハ之ニ付テ明カナ御説明ハ無カツタノデアリマスガ、將來責任支出ヲスルヤ否ヤ、若クハ責任支出ヲシタ場合ニ、此仕事ヲ市ト國トノ間ニ如何ニ按配シテ仕事ヲスルカト云フ事ニ付テ明カナ御説明ハ無イノデアリマスガ、吾々委員會ニ如キマシテハ、十分必要ヲ認メタ場合ニ於テハ、政府ハ緊急ノ支出ヲサレルモノデアラウ、隨ツテ、既ニ財政當局ト御協議ニナリマシテ、四十七議會ニ於テ削除サレマシタ一億六百萬圓ニ對スル一億五百萬圓ト云フモノ、支出ヲ、既ニ財政當局ト御協議ガ濟ミマシテ、四十八議會ニ將ニ提出セントスル時ニ議會ガ解散ニナリマシタ其一億五百萬圓ト云フモノハ、國デ執行スル豫算トシテ、四十七議會デ協賛ヲ經タ金額ト殆ド同等ノ確實性ガアルモノト認メマシテ、サウシテ其先ノ議事ヲ進メタノデアリマス、本日ノ新聞ヲ拜見シマスルト、東京ノ部ノ特別委員會ニ於キマシテハ、希望條件ト致シテ同ジャウナ

意味ノ事ヲ御決議ニナツテ居リマス、横濱ノ方ニ於テハ、特ニ東京ノ如ク希望條件トシテ經濟援助ノ事ニ付テ決議ハ致サナカッタノデアリマスガ、同シ趣旨ニ於テ吾々ハ政府ニ十分其趣旨ヲ述べ、又ソレハ行フモノダト云フ前提ノ下ニ議事ヲ進メテ參リマシタノデアリマス、其次ニ起リマシタ問題ト致シマシテハ、法律問題ト致シマシテ、道路法第十條ニ依リマスルト、國道ノ認定及ビ變更廢止ハ道路會議ニ諮詢シテ主務大臣ノ認定ヲ要スルモノトナツテ居ルガ、復興院ニ於テ今度計畫サレタ所ノ横濱市ノ國道ニ付テ變更ガアルガ、之ヲ特別都市計畫委員會デ認メマシタ場合ニ於テハ、之ヲ道路會議ニ諮詢スルカドウカ、又道路會議ニ諮詢シタ場合ニ於テ道路會議ガ、此特別都市計畫委員會ノ決議ヲ認メズシテ、兩者ノ意思ガ相違シタ場合ニ於テハドウスル積リデアルカト云フ當局ニ對スル質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテハ當局ハ、當委員會ニ於テ決議シタ事項ハ矢張道路會議ニ附議スルノガ穩當デアラウト思フ、又道路委員會ト意見ノ相違シタ場合ニ付テハ、其場合ニ於ケル研究ハ未ダジテナイ、ト云フ御答辯デアリマシタ、大體ノ總論ニ付テノ議論ハ其位ニ止マリマシテ、次ニ横濱市ノ都市計畫ニ關スル各論ニ這入リマシタ、横濱市トシテ最モ關係ノ多イノハ鐵道關係デアリマス、先ヅ鐵道關係ノオ方カラ、今度復興院ノ都市計畫ト云フモノハ、豫テ鐵道省ノ方カラ申出テアル意見ニ依ツテ計畫サレタモノデアアルカドウカト云フ御

質問ガアリマシテ、ソレニ對シマシテ當局ハ、豫テ鐵道省カラノ申出ヲ尊重シテ立案シタモノデアルト云フ答ガアリマシタ、今回吾々ニ質問サレテ居リマスル横濱ノ復興案ニ依リマスルト、現在ノ横濱驛ヲ廢シマシテ、横濱驛ハ元ノ平沼驛ノ附近ニ移ルコトニナツテ居リマス、而シテ現在ノ横濱驛カラ櫻木町ニ至リマスル電車ハ之ヲ廢止スルト云フコトノ原案ニナツテ居リマス、是ハ現在ノ横濱ノ鐵道關係ヲ見マスルト、旅客列車ハ神奈川カラ迂回シテ横濱驛ニ這入リマシテ、又迂回シテ程ヶ谷ノ方ニ出テ行クコトニナツテ居ル、貨物線ハ高架式ニ依ツテ横濱驛ノ前ヲ通りマシテ高島驛ニ行ク、ソレカラ又本線ノ方ニ出テ來ルコトニナリマス、電車線ハ横濱驛カラ櫻木町線ニ達スルト云フ現在ノ有様デアリマス、此鐵道系統ガ今回ノ震災ニ依リマシテ大部分破壞サレテシマツタノデアリマス、最モ經費ノ掛ラヌ之ノ復舊ノ方法ハ、原形ノ儘ニ復舊スルト云フコトガ最モ經費ノ掛ラナイ方法デアアルサウデアリマスルガ、ソレデハ折角金ヲ掛ケルノニ餘リ効力ガ少ナイデアラウ、出來得ルナラバモウ少シ運輸關係ヲ便利ニスル方ガ良カラウト云フ鐵道省ノ考カラ、今申シマシタヤウナ立案ヲサレタノデアリマス、元來其歴史ヲ考ヘマスルト、横濱驛ハ從來櫻木町邊ニアツタノデアリマシテ、ソレヲ廢シマシテ現存ノ横濱驛ノ所ニ移シマシテ、ソレト同時ニ平沼ノ驛ヲ廢シタノデアリマス、サウシテ其古イ横濱驛ヲ櫻木町驛ト致シマシテ、其處ニ

電車ノ終點ヲ置イテ、横濱市トノ連絡ヲ保ツタノデアリマス、其當時ノ状態ト現在ノ状態トヲ考ヘマスルト、旅客ノ數及ビ運輸貨物ノ數量ニ於テ多大ノ増加ヲ致シマシテ、殊ニ湘南地方トノ連絡ガ非常ニ増シテ參リマシタ、此連絡ハ單ニ輸送力ノ増加ヲ希望スルノミナラズ、尙又速度ノ増加ヲ希望スルコトガ益々切ニナツテ參リマシタノデ、サウ致シマスルト、現在ノ横濱驛ノ如ク、曲線ニ横濱驛ニ這入り、又曲線ヲ以テ横濱驛ヲ出テ程ヶ谷ノ方ニ行クト云フコトハ甚ダ不便デアル、是ハ直接神奈川カラ程ヶ谷ニ直線ヲ以テ連絡シテ、其中程ヶ谷所ノ平沼ニ横濱驛ヲ移シテ、湘南トノ連絡ヲモツト敏速ニ且ツ有力ニスルコトガ當ヲ得タモノデアルト云フ鐵道省ノ方ノ立案ノ趣旨ノヤウニ伺ヒマシタ、之ニ對シマシテ横濱側ノ委員ノオ方カラ多クノ反對說ガ述べラレテ居リマス、殊ニ櫻木町驛ヲ廢止スルト云フコトニ付テハ特ニ強イ反對ガアリマシタ、ソレハ、此櫻木町驛ハ、横濱市住民ノ日常生活及ビ經濟状態ガ總テソレニ依ツテ密接ノ關係ヲ生ジテ居ルノデアル、櫻木町以南ニ於テハ三十萬ノ住民ガアリ、其以北ニ於テハ單ニ十五萬ノ人口ガアルノミデアル、大體ノ三十萬ノ人口ト云フモノハ、多少ニ拘ラズ皆櫻木町ニ依ツテ日常生活ヲ續ケテ居ルノデアリマシテ、ソレヲ急ニ廢サレルト云フコトハ、横濱市ノ經濟状態ヲ根本カラ破壊スルモノデアツテ、横濱市トシテハ甚ダ迷惑デアル、現ニ震災直後横濱迄電車ガ復舊シテ、櫻木町ノ電

車ガ復舊セザリシ場合ニ於ケル横濱市ノ感ジタ不便ト云フモノハ如何デアツタカ、路面電車ヲ以テ之ヲ運ンダケレドモ、ナカ／＼運ビ切レズ、是ガ爲ニ非常ニ横濱市ハ苦痛ヲ感ジタノデアル、ソレヲ又更ニ櫻木町ヲ永久ニ廢止スルト云フコトハ、横濱市民トシテ忍ブベカラザル所デアル、又他ノ說ニ於テハ、政府モ、此櫻木町驛ヲ廢シテ、横濱驛ト横濱市街トノ連絡ガ平沼カラ行ハレルト云フコトニナルト、横濱市トシテハ多少不便デアラウガ、是ハ國有鐵道トシテノ見地カラスレバ市内ノ交通、市内ノ利便ヲ圖ルト云フコトハ目的デハナイノデアツテ、都市ト都市トノ連絡ヲ完全ニスルト云フコトガ國有鐵道ノ目的デアルカラ、横濱市ノ多少ノ不便ハ已ムヲ得ナイト云フコトノ鐵道省ノ側ノ御説明デアリマシタガ、或委員ハ鐵道省ハナゼ横濱ニ不便ガ起ルト云フコトヲ見越シナガラ、サウ云フコトヲスルノデアルカ、「バツセンジャー」トラフィック」ハ京濱兩都市ノ中央ヲ結ビ付ケテ人民ニ利便ヲ與ヘルノガ其ノ趣旨デハナイカ、若シ鐵道省ガ市内ノ利便ヲ圖ルノ必要ガナイト云フナラバ、京濱間ノ電車ヲ品川カラ直グニ東京驛ニ停メテ良イデハナイカ、其ノ間ニ澤山停マルノハ東京市内ノ利便ヲ圖ツテ居ルノデハナイカ、横濱市民トシテハ櫻木町驛ヲ存續シ櫻木町ニ從來ノ如ク電車ノ到達スルコトヲ希望シ、又要求スルノ權利ガアルト考ヘルト云フ御說デアリマシタ。

又他ノ説ニ於テハ電車ト云フモノハ多少ノ不便ハ感ジテモ、成ル丈ケ都市ノ利便發達發展ト云フモノヲ目的トスルノガ適當デハナイカ、櫻木町驛ト云フモノハ前ノ歴史ヲ辿ルト云フト桂内閣時代ニ此線ガ決定サレテ、櫻木町カラ横濱市内ヲ貫通シテ大船ニ直接ニ出ルト云フ計畫デアアルガ、其後横濱カラ直接ニ大船ニ行クヨリモ戸塚ニ寄ラセルガ良イト云フ議ガ起リ、又程ケ谷モ其ノ附近ニ在ルカラ閉却スルコトハ出來ナイト云フノデ程ケ谷ニモ寄セルガ良イト云フコトガ豫定線トシテ決定セラレ、横濱市内ヲ貫通スベク土地モ買收セラレ、工事モ相當進捗シテ居ル、サウ云フ風ニ計畫ガ進ンデ居ルカラ横濱市トシテハ是ハ將來完成セラレ、モノナリトシテ總テノ計畫ヲ進メテ居ル、工場ノ關係ニ於テモ其他住民ノ關係ニ於テモソレニ依ツテ計畫サレテ居ル、殊ニ又横濱高等商業學校ヲ設立スル場合ニ於テモ將來此線ニ依テ、東京方面カラ通學ノ便利ガアルト云フコトヲ參酌シテ其ノ筋ニ向ツテ學校ノ設立ヲ計畫サレテ居ルノデアツテ、之ヲ今急ニ改メルト云フコトハ甚タ困ル所デアアル、又始終經濟上ニモ損害ヲ來タスコトガ甚タ多イト云フ御説ガアリマシタ。

鐵道省ノ之ニ對スル答辯トシテハ色々御話モアリマシタガ、先ヅ其ノ當時ニ於テハ所謂電氣鐵道ト云フモノガサウ云フ發達ヲシテ居ラナカツタノデアアル、其ノ後電氣鐵道ガ非常ニ發達ヲシテ來テ、從ツテ東海道ノ鐵道ノ電化モ計畫サレ、差當ツテ一方ハ小田原迄、一方ハ横須賀迄モ電車ヲ動かスト云フ計畫ヲ進メテ居ル、サウナルト云フト湘南地方ノ交通ヲ便利ニスル目的カラ、サウ云フ迂迴線ヲ採ルコトハ不便デアアル、又電車ヲ横濱市内ヲ通ホストシテモ程ケ谷ニ住ツテ矢張電氣列車ト乗換エナケレバナラヌノデ乗換ト云フコトガ起ル、從ツテ市内線ヲヤル必要ハ今ハ其ノ當時カラ見ルト變ツテ來テ居ルカラ、其ノ必要ハナイト云フ御答辯デアリマシタ。

ソレデナカク、議論ハ盡キマセヌノデアリマシテ、從ツテ非公式ノ會合ヲ數回續ケマシタ、ソコデ其ノ非公式ノ會合ニ於テ茲ニ讀上ゲマス如キ協議ノ決定ヲ得タノデアリマス。

二月十二日鐵道省横濱市及復興院當局會合協議ノ結果左ノ通り決定セリ。

一、鐵道省ニ於テハ神奈川ヨリ櫻木町ヲ經テ程ケ谷ニ至ル線路ハ廢棄スルコトニ決定シ居レルモ横濱市ノ切望アルニ因リ右ノ中神奈川櫻木町間ニ限り電車運轉ヲ復活シ櫻木町程ケ谷間ノ新設線路ハ之ヲ廢棄スル事。

一、平沼驛ヲ捨テ東海道本線ト櫻木町線トノ分岐點ニ横濱驛ヲ新設セムト欲スル横濱市ノ希望アリ鐵道當局トシテハ右ノ希望ヲ實現スルハ差支ナキモ右新驛ハ神奈川驛ニ接近スルヲ以テ神奈川驛ハ廢止スル事。

一、前項ノ場合ニハ新設スル横濱驛ト現今ノ横濱驛トノ間ノ高架鐵道ハ土盛ニシテ差支ナシ。  
一、現今ノ横濱驛ト櫻木町驛トノ間ノ高架鐵道ヲ約五間東方ニ移轉セムトスル横濱市ノ希望アル  
モ右ハ横濱市財源ノ都合ツク場合ニ於テ鐵道省ト協議決定スル事。

斯ウ云フ協議ノ決定案ヲ得マシテ之ヲ又特別委員會ノ議ニ諮リマシタノデアリマス、此決定サ  
レマシタ四號ノ中ニ就テ、他ノ項ニ關シテハ何モ議論ハナカッタノデアリマスガ、第一項ニアリ  
マス所ノ櫻木町ヲ經テ程ヶ谷ニ至ル線路ヲ廢棄スルト云フコトニ付キマシテハ色々議論ガ超リマ  
シタ、鐵道省ハ飽ク迄之ヲ廢棄スルト云フコトヲ聲明セラレマシタ、横濱關係ノ多クノ御方ハ廢  
棄ニ付テハ反對デアアル今迄述べラレタ所ノ横濱市トシテノ經濟關係ニ於テ、市内貫通線ト密接ノ  
關係ヲ持ツテ居ルト云フ理由カラ、廢棄ニハ絶對反對デアルト主張セラレマシタ、是ハ勿論横濱  
ノ部ノ特別委員會ニ諮問セラレタル事項デナイノデアリマスカラ、之ニ就テ決ヲ採ルコトハ致シ  
マセヌ、鐵道省ハ廢棄スルノデアアル、横濱市ノ關係ノ御方ハ廢棄ニ反對デアルト云フ互ニ反對ノ  
聲明ヲセラレタニ止マリマシテ、何レ速記録ヲ御覽下サイマスト其ノ模様ハ能ク分カルト存ジ  
マス、此協議會ノ決定ニ依リマシテ原案デアリマシタ所ノ横濱驛ノ移轉問題ニ付キマシテ、今回  
移轉サレル所ノ本線ト、櫻木町線ノ分岐點ニ新シイ横濱驛ガ出來ルコトニ極マツタノデアリマ

ス、サウシテ基本ト致シマシテ横濱市ノ街路ノ復興計畫ハ横濱市會ノ方カラ提案セラレマシテ、  
從來ノ復興院ノ案ヲ多少修正シタ案ガ提議セラレタノデアリマス、此修正案モ同時ニ非公式ニ協  
議會ニ於テ協議ヲ經マシテ、決定案ヲ得タノデアリマスガ、元來此横濱市ノ方カラ市會ノ決議ヲ  
經テ出サレマシタ案ハ、大體道路ノ擴張ヲ希望セラレタ案デアリマス併シ復興院當局トシテハ、  
既ニ豫算ガ決定シテ居ルモノデアリ、單ニ道路ノミ擴張スルコトハ實際豫算ノ許サナイ所デア  
カラ、或道路ヲ擴張スレバ、ソレニ對シテ他ノ道路ヲ廢止スルトカ縮小スルトカ云フコトニナラ  
ナケレバ、實行不可能デアルト云フ見地カラ、復興院當局ト横濱市ノ當局ト協議ノ結果、原案ガ  
茲ニ讀上ゲマス如ク決定サレタノデアリマス。

### 横濱都市計畫街路中修正説明書

一號線 子安町市郡界ヨリ神奈川町十番町迄ノ幅員二十二米ヲ二十五米ニ改メ神奈川町十番町ヨ  
リ横濱驛前迄ノ路線ノ一部ヲ變更シ幅員二十七米ヲ神奈川町十番町ヨリ青木町七軒町迄ヲ三十  
三米ニ青木町七軒町ヨリ横濱驛前迄ヲ三十六米ニ改ム。  
五號線 幅員十六米乃至二十五米ヲ全線二十二米ニ改ム。

九號線 櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目、日ノ出町南太田町ヲ經テ井土ヶ谷町ニ至ル全線ヲ二分  
シ日ノ出町一丁目以西延長二千六百三十六米ヲ十三號線トス。  
十號線 幅員三十三米ヲ二十二米ニ改ム。

十三號線 原案十三號線全部ヲ削除ス(九號線説明参照)

十四號線 青木町七軒町地内ニ於テ一號線ノ變更線ニ連絡スル區間六十四米(此ノ幅員二十七米)  
ヲ延長ス。

十五號線 原案十五號線全部ヲ削除シ、高島町八丁目ヨリ西戸部町鹽田ニ至ル千五百六十四米  
(此ノ幅員十五米)ヲ追加ス。

斯ウ云フ風ニ國デ施行スベキ分ニ修正シタモノニ對シマシテ、是ト相殺スル爲ニ原案ノ第十三  
號、第十五號線ガ削除セラレマシテ、即チ第十三號線トシテ修正シタモノ及第十五號線ノ修正シ  
タモノガ市ニ於テ施行スベキ街路トシテ決定サレタノデアリマス。

尙ホ申シ落シマシタガ、横濱市ノ委員ノオ方ノ中ニモ、横濱驛ノ移轉問題ニ付キマシテ斯ウ云  
フ御説モ出テ居リマシタ、今回移轉サレル所ノ本線ト櫻木町線ノ分岐點ニ新ラシイ横濱驛ガ出來  
ルノデアリマスガ、其地點ハ如何ニモ地積ガ狹隘デアアル、堂々タル横濱ノ中央驛ヲ造ルニハ、前

ハ直グ海デアツテ如何ニモ貧弱デアアル、矢張現今ノ平沼驛ノ所ガ、十分土地ガ廣イノデアアルカラ  
其處ニ立派ナ中央驛ヲ設ケタラドウデアラウカサウシテ、櫻木町ニ至ル線ハ神奈川ノ所ニ「ジャ  
ンクシヨン」ヲ置イテ、ソレカラ櫻木町ノ方ニ這入ルヤウニシテハドウデアラウカト云フヤウナ  
御説モアツタノデアリマスガ、サウスルト鐵道省トシテハ、經費モ増スシ、又若シ櫻木町迄ノ電  
車ヲ運轉スルモノトスレバ、矢張此分岐點ノ所ニ横濱驛ヲ置ク方ガ良イ、ト云フヤウナ御説モ出  
テ居リマシタ、ソレカラ、横濱市ノ都市計畫ヲ居留地ニ及ボス考ガアルカドウカト云フ、委員ノ  
中カラ内務省關係ノ方ニ對スル御尋ガアリマシタガ、内務省關係ノ方ハ、自分ノ職責デナイカラ  
之ノ答辯ハ出來ヌト云フコトデアリマシタ、復興院ノ方デハ、居留地ニ對シテモ計畫ヲシテ見タ  
イト思フト云フ御答辯デアリマシタ、會議中澤山ノ御話ガ出テ居リマスルノデ、私ノ今迄簡單ニ  
御報告申シタノデハ足ラヌ點ガ多々アルト思ヒマスガ、是等ノ點ハドウカ他ノ特別委員ノ方カラ  
御補充ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體之ニテ報告ヲ了リマス。

○五十七番(平沼委員) 一寸御伺ヒシタイト思ヒマスガ、横濱ニ於キマスル今後市デ施行致シマス  
事業、道路、橋梁、運河、上下水道ハ殆ド總テ國ノ仕事デアリマスガ、聞ク所ニ依レバ東京府ト  
カ或ハ神奈川縣トカノ災害ノ復舊ニ對シテハ、九割乃至十割ノ補助ガアルト云フコトヲ聞イテ居

リマスルガ、是ハ事實デアリマスカ、若シ又ソレガ事實デアルトスレバ、市部ト郡部トノ補助率ノ差ガ餘リ大キイヤウニ思ヒマス、尤モ横濱ハ國費ヲ以テ他ノ仕事ヲ澤山ヤツテ居ラレマスガ、今回ノ災害ガアリマセヌデモ、都市計畫ニ對シテハ二分ノ一乃至三分ノ一ノ補助ハ頂戴スルコトガ出來ルノデアリマス、横濱ダケデモ三千五百萬圓位ノ額ニ上ツテ居リマスガ、其中都市計畫ハ災害ガ無クテモ補助シテ戴クモノト今回ノ災害ニ依ツテ補助セラレルモノトノ差ガ極ク僅ナモノデアリマスガ、東京府并ニ神奈川縣ニ對スル率カラ見ルト差ガアルノデアリマスガ、是ハ事實デゴザイマセウカ、尙亦ドウ云フ理由デゴザイマセウカ。

○九番(長岡委員) 私ノ知ツテ居リマスル範圍ダケヲ御答ヘ致シマス、災害復舊費ノ補助ハ、明治四十四年ノ法律第十五號府縣災害土木費國庫補助ニ關スル件、此法律ト、ソレニ基キマシテ出マシタ勅令、災害土木費國庫補助規程ナルモノガアリマシテ、之ニ基キマシテ府縣ノ災害ノアリマシタ場合ニ、之ニ對シテ補助ヲスル率ガ定マツテ居リマス、ソレデ神奈川縣郡部及ビ東京府郡部ニ於テハ、此規程ニ依ツテ、災害土木費總額ガ、當該府縣地價ノ七倍ヲ超過致シマスレバ、八割ノ補助ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居リマス、而シテ今回東京及ビ横濱ニ於ケル災害ノ甚シカツタ事ト、之ニ對スル負擔ノ力ノ非常ニ減ジタト云フ事ト、尙亦濃尾震災ノ際ニ金額ヲ補助シタト

云フ實例モアリマスカラ、此神奈川縣郡部、及ビ東京府郡部ニ對シテハ、法律ニ規定スル八割以上ノ補助ヲシタイト云フ考デ、目下大藏省ト折衝中デアリマス、市部ノ災害復舊ニ關シマスル事ハ、是ハ復興局ノ御所管デアリマスカラ、ソチラノ方カラ御答辯ヲ願ヒマス。

○直木長官 只今ノ御質問ニ對シテ、復興局ノ方ト致シマシテハ、既ニ議會ノ協賛ヲ經マシタダケノ豫算ヲ以テ其事業ヲ遂行スルダケノ力シカ持ツテ居リマセヌ、郡部ニ於テ著シク補助率ガ違ツテ參リマシタトシテモ、復興局ノ方デハ、更ニ補助ノ率ノ違ツタダケヲ議會ニ諮ツテ出シテ貰ハウト云フコトハ随分困難デアリ、當分出來ナイカト思ヒマス、現在議會ニ於テ協賛ヲ經タ金ニ依ツテ運行スルヨリ仕方ガナイト思ヒマス。

○會長(水野內務大臣) 此横濱ノ議案ニ付テハ特別委員ノ修正ガアリマスガ、別ニ御質疑ノ方モゴザイマセヌケレバ採決致シマス。

○五十一番(大橋委員) 横濱ノ復興計畫ニ付キマシテハ、只今井上子爵カラ詳細承リマシタ、東京ノ特別委員會デハ、此政府提案ノ幹線及ビ補助線ヲ遂行シマス上ニ於テ、昨年暮ノ議會デ決定シタ金額ヲ以テ果シテ遂行シ得ルヤ否ヤト云フ事ニ付テ論議シマシタノデアリマス、横濱ノ此計畫ハ三千五百萬圓ノ豫算ヲ以テ是ダケノ計畫并ニ御修正ニナツタモノニ付テ遂行シ得ルヤ否ヤト云

フ事ニ付テハ横濱ノ部ニ於テハ御審議ハナカッタノデアリマスカ、或ハ又、果シテ是ガ出來ルモノト御認メニナツタノデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒマス。

○十四番(子爵井上匡四郎君) 其點ニ付キマシテ、私ハ特ニ横濱ノ部ニ於テ議論ハ無カッタト承知致シテ居リマスルガ、只今申述ベマシタ修正案、ソレハ初メ政府提出ノ案ヨリモ豫算ノ多ク掛ル案デアリマシタカラ、其場合ニ豫算關係ノ事ガ問題ニナリマシテ、横濱市ノ方トシマシテハ、今政府ノ豫算ハ茲ニ定マツテ居ルガ、果シテソレガ出來ルモノナルカドウカト云フ事ハ甚ダ覺束ナイ、成程横濱市ノ方カラ提出シタ案ハ、從來ノ政府ノ提案ヨリモ費用ノ掛ル案デアルガ、之ニ併シ一年二年デ出來ル仕事デハナイノデアルカラ、將來政府案ニ付テモ費用ノ増加ヲ來スヤウナ場合モアルデアラウカラ、其場合ニ於テ能ク御協議ヲ願ヒタイト云フヤウナ御話ガアリマシタ場合ニ、當局トシマシテハ、ソレハ將來増加スルコトガアルカモ知レナイガ、現在ノ知識ニ於テ出來ルダケノ調査ヲシテハ、是デ出來ルト云フコトヲ政府ノ方デハ考ヘテ提案シテ居ルノデアアル、將來物價ノ變動ヲ來シタ場合ニ於テハ、或ハドウ云フコトニナルカ分ラヌガ、兎ニ角今日ノ現状ニ於テハ是デ出來ルト云フコトヲ政府ノ方デハ信ジテ居ル、ソレデサウ云フ將來豫算ノ増加スベキ疑ノアルモノヲ其時ノ相談ニ殘スト云フコトハ困ル、ト云フヤウナ當局ノ御答辯ニ付テ、特ニ横濱

ノ委員ノ御方カラ御反駁ガ無カッタ所ヲ見ルト、大體政府提出ノ豫算デ以テ此事業ガ遂行セラル、モノト御認メニナツタモノト私ハ思ヒマス、併シ特ニソレニ付テノ御論議ハアリマセンデント。

○三十一番(渡邊委員代青木横濱市助役) 只今大橋委員カラノ御質問ハ、恐ラクハ今度ノ區劃整理ニ關スル地價ガ、果シテ政府ノ豫算デ出來ル見込デアルカト云フ、横濱地方ノ狀況ヲ御質問ニナツタコトダト推察致シマスガ、其邊ニ付キマシテハ、政府デハ八十一圓平均位ノ地價ヲ以テ出來ルト云フヤウナ御勘定デ居ラレルト云フコトデアリマスルガ、是ハ平均ノ地價デアリマシテ、同時ニ區劃整理ニ依ツテ一割餘ノ道路面積ヲ無償デ收用スルト云フモノ、勘定ガ入レテアルト云フコトデアリマシテ、精細ニ其勘定ヲスルコトハ出來マセスケレドモガ、最高ノ處ハ八百六十圓バカリノ積リニナツテ居ルト云フコトデアリマスルガ、併ナガラ大體ノ勘定ニ於テハ、此八十幾圓ト云フ平均ヲ以テ是ダケノ道路ヲ拵ヘル爲ニハ、非常ナ困難ニ遭遇スルコトダラウト考ヘテ居リマス、實際ニ仕事ヲ始メマスルト、此地價ノ見積リガ安イ爲ニ、或ハ仕事ノ進捗ヲ妨ゲヤシヤイカト云フヤウナ心配ハ私共モ持ツテ居ルノデアリマスケレドモガ、ソレハ實際ニ仕事ヲスル際ニ行ツテ見ナイト能ク分リマセヌモノデアリマスカラ、心配シナガラ此事ハ當局者ノ御計ヒニ委



シテ居ル次第アリマス、一寸現在ノ地方ノ地價ノ狀況トシテハ、餘リニ安過ギヤシナイカ餘リ安イ爲ニ仕事ニ困難ヲ生ズルコトガアリハシナイカト云フコトヲ吾々モ憂ヒテ居ル次第デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス。

○會長(水野内務大臣) 別ニ御質問、御意見ガアリマセヌケレバ採決ニ入ラウト思ヒマス。

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○會長(水野内務大臣) ソレデハ採決致シマス、特別委員長ノ報告通りニ御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 總員

○會長(水野内務大臣) 全會一致ト認メマス、ソレデハ此議案ハ是デ確定致シマシタ、次ハ常務委員委任事項決定ノ件、是ハ朗讀致シマス。

〔金井幹事朗讀〕

議第五號

常務委員會委任事項議定ノ件

常務委員會委任事項

特別都市計畫委員會官制第十一條第一項ノ規定ニ依リ本會ノ權限ニ屬スル事項ノ内左記ノモノハ之ヲ常務委員會ニ委任ス。

- 一、關係各官廳公署ヨリ協議ヲ受ケタル事項ニシテ都市計畫上重大ナル影響ヲ及ホスノ虞ナキモノ。
- 二、事業ノ執行上必要ヲ生シタル都市計畫又ハ都市計畫事業ノ些少ノ變更。
- 三、既定ノ年度ヲ延長セサル都市計畫事業ノ執行年割ノ變更。
- 四、面積百坪以内ノ河岸地ノ賣却讓與。

○會長(水野内務大臣) 是ハ別ニ御意見ハゴザイマセヌカ——原案通り決定シテ御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○會長(水野内務大臣) 御異議ノナキモノト認メマシテ原案ノ通り確定致シマス、次ハ東京都市計畫ノ案デアリマスガ、昨日實ハ特別委員會ガ終了致シタノデアリマス、丁度本日此總會ガ開カレマスノデ議題ニ上ボセタノデアリマスガ、皆サンニ御異議ガナケレバ本日此議ニ入ツテハ如何カト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ。

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○會長(水野內務大臣) 御異議ガナケレバ東京市ノ都市計畫委員會ノ特別委員長ノ報告ヲ受クルコトニ致シマス——特別委員長報告

### 報告

本特別委員會ハ大正十三年二月七日第一回會議ヲ開キ付託セラレタル議第二號及議第三號議案ニ付調査ニ着手シ爾來回ヲ重ヌルコト五回ニ及ヒタルカ二月十三日第三回會議ニ於テ小委員會ヲ設ケテ調査ヲ分擔スルコトトシ第一區神田川以北第二區本所深川方面第三區神田川以南ニ分チテ調査ヲ行ヒ其ノ間必要ニ應シテ實地ノ踏査ヲ爲シ慎重審議ノ結果左記ノ通修正ノ上可決スルヲ適當ト認メ尙希望事項トシテ別記ノ通決定致候此段及報告候也

大正十三年二月二十八日

特別委員長 子爵 大河内 正 敏

特別都市計畫委員會

會長 水野 鍊 太郎 殿

### 修正事項

第一、議第二號東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割ノ件

一、第一項街路計畫路線中左ノ通修正ス

#### 幹線

番號

路

線 (起終點及經過地)

延長(約)

幅員

五

築地三丁目ヨリ入船町、龜島町、濱町三丁目、淺草橋南元町北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル

八、〇四八<sup>米</sup>

三三三<sup>米</sup>

七

東京驛東口ヨリ下槇町、龜島橋ヲ經テ越前堀一丁目ニ至ル

一、一一〇

二二乃至四四

内(東京驛東口ヨリ下槇町迄  
下槇町ヨリ龜島橋西詰迄  
龜島橋西詰ヨリ越前堀一丁目迄)

二三

淺草區田町三丁目ヨリ金杉下町ニ至ル

七八二

一一二

二八

濱町三丁目ヨリ中洲町、東扇橋町ヲ經テ砂町ニ至ル

四、〇七二

一一一

二九

濱町三丁目ヨリ新大橋、徳右衛門町、菊川橋ヲ經テ大島町ニ至ル

三、二二〇

二二乃至二七

内(濱町三丁目ヨリ徳右衛門町迄  
徳右衛門町ヨリ大島町迄)

一、四三八

二二

二回總會

三九七

第二回總會

番號	路	線	延長(約)	幅員
三一	山ノ宿町ヨリ今戸橋北詰ニ至ル		三八五	三九八
三二	淺草區材木町ヨリ吉野橋ヲ經テ南千住町常磐線踏切ニ至ル		二、六五五	二二乃至二五
三七	内(淺草區材木町ヨリ吉野橋南詰迄) 譯(吉野橋南詰ヨリ常磐線踏切迄)	三ノ輪町ヨリ白鬚橋西詰ニ至ル	一、二五五 一、四〇〇	二二乃至二五
三八	入谷町ヨリ山ノ宿町、淺草驛前ヲ經テ中ノ郷業平町ニ至ル		一、六三七	二二
四八	芝公園増上寺門前ヨリ濱松町一丁目ニ至ル		二、八三六	二二
四九	雉子橋内ヨリ美土代町二丁目ヲ經テ豊島町ニ至ル		六一一	二七
五〇	村松町ヨリ豊島町ニ至ル		一、八四五	二二
五一	湯島天神町三丁目ヨリ厩橋ヲ經テ押上町ニ至ル		五七三	二二
五二	池ノ端仲町地内		三、八七七	二二
五三	越中島町ヨリ濱園町ニ至ル		三〇〇	二二
	補助線		一、〇二五	二二

延長(約)

幅員

米

一	今戸橋北詰ヨリ橋場町ヲ至テ南千住町地方橋場ニ至ル	一、五二〇	一一乃至一五
	内(今戸橋北詰ヨリ橋場町迄) 譯(橋場町ヨリ南千住町地方橋場迄)	一、一七五 三、四五	一一乃至一五
三	靈巖町ヨリ石島町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、一九一	一一
五	押上町ヨリ四ノ橋ヲ經テ東平井町ニ至ル	四、二三六	二二
八	元衛町ヨリ御茶ノ水橋ヲ經テ春木町二丁目ニ至ル	二、〇七三	二二
一〇	南千住町千束ヨリ同町地方橋場ニ至ル	七九二	二一
一一	小梅業平町ヨリ木場町ニ至ル	四、三三八	二二
一五	千束町一丁目地内	一四五	一五
二六	東湊町一丁目ヨリ新船松町ニ至ル	三五五	一八
三〇	坂本裏町ヨリ聖天町ニ至ル	一、九四七	一五
三六	花川戸町ヨリ淺草區田町二丁目ニ至ル	一、三一四	二二
三七	今戸町ヨリ橋場町ヲ經テ南千住町地方橋場ニ至ル	一、七〇七	一一乃至一五
	内(今戸町ヨリ橋場町迄) 譯(橋場町ヨリ地方橋場迄)	一、二二五 四八二	一一乃至一五

第二回總會

第二回總會

四〇	元町ヨリ清住町ニ至ル	一、四〇〇	一五
四二	中ノ郷業平町ヨリ本所驛脇ヲ經テ洲崎ニ至ル	四、四三七	一五
四五	砂町八石衛門新田地内	五二七	一五
五八	柳町ヨリ淺草橋南詰ニ至ル	一、二一八	一五
七九	千束町三丁目ヨリ淺草區田町一丁目ヲ經テ今戸町ニ至ル	八三三	一一乃至一五
八〇	内〔千束町三丁目ヨリ田町一丁目迄 譯〔田町一丁目ヨリ今戸町迄	二二九 六〇四	一一
八二	吉野町ヨリ南千住町地方橋場ニ至ル	八五五	一一
八九	千束町一丁目ヨリ龜岡町三丁目ニ至ル	一、二七六	一五
九九	永堀町ヨリ深川區大島町ニ至ル	八六七	一一
一〇八	清住町ヨリ深川區大島町ニ至ル	一、四六五	一五
一一二	中ノ郷竹町ヨリ荒井町ヲ經テ數矢町ニ至ル	三、八七七	一一乃至一二
一一四	内〔中ノ郷竹町ヨリ荒井町迄 譯〔荒井町ヨリ數矢町迄	四四九 三四二八	一一
	押上町ヨリ柳島町ニ至ル	七六四	一一
	佐賀町一丁目ヨリ龜住町ニ至ル	六一二	一一

四〇〇

一一七	柳原町ヨリ豊住町ニ至ル	二、一三九	一一
一一八	猿江裏町ヨリ大島町ニ至ル	六三七	一一
一一九	靈巖町ヨリ本山町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、三四八	一一
一二三	削除		
一二四	削除		
一二五	削除		
一二六	削除		
一二七	削除		

二、第二項中「前項ノ計畫中幹線街路」ノ下ニ「第三號路線ノ内第五號路線接合點以東及第(三〇號路線ノ内環狀線交叉點以北ヲ除ク)」ヲ加フ。

第二、議第三號東京都計畫事業中變更ノ件街路ノ部中左ノ通修正ス。

一等大路第三類第十五 幅員十二間

前號路線終點エリ南千住町大字三河島ニ至リ鐵道線路下ヲ過キ市郡界ニ至ルノ路線。

希 望 事 項

都市計畫事業促進ニ關スル件

第二回總會

今回本會ニ付議セラレタル東京都市計畫事業ハ帝都ノ復興促進上速カニ之レカ完成ヲ期スヘキハ言ヲ俟タサル所ニシテ政府ハ素ヨリ此ノ方針ニ基キテ着々其ノ計畫ヲ進メラルルヤ明ナリ然レトモ該事業ノ遂行ハ街路ノ幹線タルト補助線タルトヲ問ハス將又土地區劃整理ニシテ國ノ執行スルモノト否トヲ論セス互ニ相關連シテ實行スルヲ必要トシ之ヲ分離シテハ到底其ノ完璧ヲ期シ難キハ勿論ナリ然ルニ國ノ執行スル事業ニ付テハ曩ニ臨時帝國議會ノ協贊ヲ經テ其ノ豫算確定シタリト雖市ニ於テ執行スヘキ補助街路及土地區劃整理ノ事業ニ對シテ政府ノ財政的援助未タ確立セサルモノアルヲ以テ政府ハ速ニ適當ノ方法ニ依リ市ニ對スル財政的援助ヲ確立シ將來事業進捗上何等ノ不安ナカラシメラレムコトヲ望ム。

市内鐵道線路ニ關スル件

政府ノ經營ニ係ル市内通過鐵道線路ハ市内交通ノ安全ヲ圖ル爲メ未設線ハ勿論既設線ト雖總テ之ヲ高架若ハ地下線路トセラレンコトヲ望ム。

運河ニ關スル件

東堀留川龍閑川及濱町川ハ東京市ニ於ケル水陸交通ノ趨勢ニ鑑ミ將來運河トシテ之ヲ存置スルノ必要ヲ認メス依テ既定ノ計畫タル東堀留川ノ改修ヲ廢止シ西堀留川ヲ神田川ニ延長シ若シ財源ニ於

テ不足ノ場合ニハ横十間川ハ土地買収ニ止メ工事ヲ延期セラレム事ヲ望ム尙西堀留川ニ代フルニ東堀留川ヲ以テスル方便宜ナル場合ハ其ノ選擇ハ之ヲ當局ノ決定ニ委ス。

補助路線延長ニ關スル件

補助路線中第二七號路線及第二一號路線ヲ延長シテ東京驛ニ連絡セラレムコトヲ望ム。

東京都市計畫街路修正説明書

幹線ノ部

路線番號

記

事

- 三 原案幹線三號線中東平井町以東ノ部分ヲ計畫ノミニ止メタリ。
- 五 千束町一丁目地内及村松町附近ノ經過地一部變更シ延長ニ些少ノ異動ヲ生シタリ。
- 七 原案幹線七號線ノ内東京驛東口ヨリ下横町ニ至ル間ノ幅員ヲ四十四米ニ縮少シ且ツ現在街路ノ左右ニ平等ニ擴張スル爲メ少シク南方ニ移シタリ。
- 二三 原案二三號線ノ内材木町吉野橋南詰間ヲ修正幹線三十二號ニ加ヘ吉野橋南詰田町二丁目間ヲ削除シ金杉下町三之輪間ヲ修正幹線三十七號線ニ編入シ殘部ヲ本線トシ尙幅員ヲ二十二米ニ改メタリ。

- 二八 深川區内及砂町内ノ經過地ヲ大部分ヲ變更セル結果延長増加セリ。
- 二九 原案補助線二十九號線中濱町三丁目徳右衛門町間ノ幅員ヲ二十七米ニ改メ徳右衛門町以東ハ原案通リトセリ。
- 三〇 原案幹線三十號中寺島町字新田以東ノ部分ヲ計畫ノミニ止メタリ。
- 三一 原案幹線三十一號線中今戸橋北詰以北ノ幅員ヲ減少シ之ヲ補助路線トセシ爲メ延長縮少セリ。
- 三二 原案二十三號路線ノ内材木町吉野橋南詰間ヲ本線ニ加ヘタル爲メ延長増加セリ。
- 三七 金杉下町白鬚橋西詰間ノ幅員二十二米ノ新路線ト原案幹線二十三號線ノ内三之輪金杉下町間ノ幅員二十五米ヲ二十二米ニ改メタルモノトヲ併セ本線トセリ。
- 三八 原案幹線三八號線中ノ郷業平町以南ヲ幅員十五米ニ縮少シ中ノ郷業平町以北ハ原案通リトセリ。
- 四八 芝公園増上寺門前ヨリ濱松町一丁目ニ至ル幅員二十七米突ノ路線ヲ新設セリ。
- 四九 原案補助線ヲ美倉橋南詰迄延長シ且幅員ヲ二十二米ニ擴張シ幹線ニ編入セリ。
- 五〇 原案補助線五十八號線ノ幅員ヲ二十二米ニ擴張シ且ツ幹線五號線ノ變更ニ依リ延長ヲ

- 短縮シ幹線ニ編入セリ。
- 五一 湯島天神町三丁目ヨリ厩橋ヲ經テ本所押上町ニ至ル間ニ幅員二十二米ノ路線ヲ新設セリ。
- 五二 池ノ端仲町地内ニ幅員二十二米ノ路線ヲ新設セリ。
- 五三 原案補助線三號線ノ幅員ヲ全線ニ亘リ二十二米ニ擴張セリ。

補助線ノ部

- 一 原案補助線三十一號路線中今戸橋北詰以北ノ幅員ヲ十五米ニ縮少シ且ツ橋場町地方橋場迄幅員十一米ノ路線ヲ新設セリ。
- 三 原案補助線四十五號線ノ變更ニ伴ヒ幹線二十八號線ト原案補助線一一九號トノ中間ヲ靈巖町ヨリ砂町ニ至ル幅員十一米ノ路線ヲ新設セリ。
- 五 原案補助線五號線及同四十二號線ヲ連結シ幅員ヲ全線ニ亘リ二十二米ニ擴張セリ。
- 八 原案補助線八號線同十號線及同九十九號線ノ三路線ト其中間ヲ連絡シ幅員ヲ二十二米ニ改メタリ。
- 九 原案幹線五號線ノ變更ニ伴ヒ村松町附近ニ於テ經過地ニ些少ノ變更ヲ來セリ。

- 一〇 南千住町千束ヨリ同町地方橋場ニ至ル幅員十一米ノ路線ヲ新設セリ。
- 一一 原案補助線十一號線ヲ延長シテ幅員ヲ二十二米ニ改メ小梅業平町ヲ於テ之ヲ幹線三十號線ニ連結セリ。
- 一五 舊路線全部ヲ削除シ千束町一丁目地内ニ幹線五號線ト補助線三十號線トヲ連絡スル幅員十五米ノ路線ヲ新設シ本號トセリ。
- 二六 原案補助線二十六號線ノ幅員ヲ十八米ニ擴張ヒリ。
- 三〇 幹線五號線ノ變更ニ伴ヒ千束町一丁目地内經過地一部變更セシメ延長ヲ増加セリ。
- 三六 原案補助線三十六號線ノ内田町一丁目今戸橋間ヲ修正補助線七十九號線ニ編入シ更ニ田町二丁目迄延長シ幅員ヲ二十二米ニ改メタリ。
- 三七 橋場町ヨリ地方橋場ニ至ル幅員十一米ノ路線ヲ追加セリ。
- 四〇 原案補助線四十號線中元町清住町間ハ原案通リトシ清住町以南ヲ削除セリ。
- 四二 原案幹線三十八號線ノ内中ノ郷業平町以南ヲ幅員十五米ニ改メタリ。
- 四五 原案幹線二十八號線ノ變更ニ伴ヒ大部分ヲ削除或部分ヲ修正幹線二十八號線ニ連結セリ。

- 五八 柳町ヨリ淺草橋南詰ニ至ル十五米ノ路線ヲ新設セリ。
- 七九 原案補助線七十九號線ノ内田町一丁目屈折點以東ヲ削除シ更ニ地方今戸町ニ至ル路線ヲ新設シ同所ヨリ今戸町迄ハ原案補助線三十六號線ノ一部ヲ編入シ幅員ヲ修正三十六號線以東ハ十五米ニ以西ハ十一米トセリ。
- 八〇 玉姫町ヨリ地方橋場ニ至ル幅員十一米ノ路線ヲ追加セリ。
- 八二 原案幹線三十七號線ノ内千束町三丁目以西ヲ削除シ原案補助線八十二號線ト連絡セシメ全線ヲ通シテ幅員ヲ十五米トセリ。
- 八九 舊路線全部ヲ削除シ原案一二三號線ヲ本號ニ繰上ケタリ。
- 九九 舊路線一二四號ヲ本號ニ繰上ケ全線ニ亘リ幅員ヲ十五米ニ擴張セリ。
- 一〇八 原案補助線一〇八號線中中ノ郷竹町荒井町間ノ幅員ヲ二十二米ニ擴張シ荒井町以南ハ原案通リトセリ。
- 一一二 原案補助線一一二號ノ經過地ヲ變更シ延長ヲ増加セリ。
- 一一四 舊路線全部ヲ削除シ原案一二五號線ヲ本號ニ繰上タリ。
- 一一七 舊路線全部ヲ削除シ原案一二六號線ヲ本號ニ繰上タリ。

一一八 舊路線全部ヲ削除シ原案一二七號線ヲ本號ニ繰リ上タリ。  
 一一九 原案補助線一一九號線中千田町以東ヲ延長シテ修正幹線二十八號線ニ連結セリ。

東京都市計畫街路修正對照表

幹線ノ部

注意(番號欄中印ヲ付シタルハ補助線ヲ示ス)

番號	原案	修正案	延長	幅員	說明
三	吳服橋外ヨリ永代橋澤海橋ヲ經テ砂町ニ至ル	吳服橋外ヨリ永代橋澤海橋ヲ經テ砂町ニ至ル	五、二五五	三三	東平井町地内補助線五號路接合點七九ヨリ除ク
五	築地三丁目ヨリ入船町、龜島町、濱町三丁目、淺草橋南元町、北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル	築地三丁目ヨリ入船町、龜島町、濱町三丁目、淺草橋南元町、北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル	八、〇四〇	三三	村松町附近及千束町一部變更
七	東京驛東口ヨリ下槇目ニ至ル	東京驛東口ヨリ下槇目ニ至ル	一、一〇〇	二二乃	一部幅員縮少
七	東京驛東口ヨリ下槇目ニ至ル	東京驛東口ヨリ下槇目ニ至ル	四二〇	五〇	路線ニ些少ノ變更ヲ加ヘ幅員縮少
七	龜島橋西ヨリ越前堀一丁目迄	龜島橋西ヨリ越前堀一丁目迄	三四五	三三	原案ノ通

二八	濱町三丁目ヨリ中洲町、石島町ヲ經テ砂町ニ至ル	濱町三丁目ヨリ中洲町、東扇橋町ヲ經テ砂町ニ至ル	三、八九〇	二二	深川區内及砂町内大部分經過地變更
二九	濱町三丁目ヨリ新大橋、菊川橋ヲ經テ大島町ニ至ル	濱町三丁目ヨリ新大橋、德右衛門町、菊川橋ヲ經テ大島町ニ至ル	三、二二〇	二二	濱町三丁目ヨリ德右衛門町迄ノ間幅員擴張
三〇	中ノ郷元町ヨリ寺島町ニ至ル	中ノ郷元町ヨリ寺島町ニ至ル	一、九二〇	二二	宇新田地内環狀線交又點以北五、四、五米ハ都市計畫事業ヨリ除ク
三一	山ノ宿町ヨリ龜岡町ヲ經テ橋場町ニ至ル	山ノ宿町ヨリ今月橋北詰ニ至ル	一、五六〇	二二	原案三一號線ヲ二分シ今月橋北詰以北ハ幅員縮少、橋場町地方橋場間ヲ延長シ幅員縮少區間ハ都市計畫事業ヨリ除ク
三二	吉野橋ヨリ南千住町常盤線踏切ニ至ル	淺草區材木町ヨリ吉野橋ニ至ル	一、四〇〇	二二	原案二三號線ノ内材木町、吉野橋間ヲ延長增加ヘタル爲



二三	淺草區材木町ヨリ吉野橋 ヲ經テ三之輪ニ至ル	二五四五	二五	二三	淺草區田町二丁目ヨリ金 杉下町ニ至ル	七八二	二三	原案二三號線ノ内吉 野橋南詰田町二丁 目間ヲ制リ金杉下 三之輪間ヲ修正シ 號線ニ編入シ殘部ヲ 本線トス
三七	千束町一丁目ヨリ龜岡町 ニ至ル	一、一四五	二二	三七	三ノ輪町ヨリ白鬚橋西詰 ニ至ル	一、六三七	二二	原案三號線ノ内三 之輪金杉下町間新 間トナ本線トス
三八	入谷町ヨリ山ノ宿町淺草 驛前本所驛ヲ經テ洲崎 ニ至ル	七、〇三六	二二	三八	入谷町ヨリ山ノ宿町、淺 草驛前ヲ經テ中ノ郷業平 町ニ至ル	二、八三六	二二	二線ニ分割シ中ノ郷 業平町以南幅員縮少 及本所驛附近經過地 變更
三九	芝公園前七寺門前ヨリ濱 松町一丁目ニ至ル	六、一一	二七	三九	芝公園前七寺門前ヨリ濱 松町一丁目ニ至ル	六、一一	二七	幅員縮少區域ハ都市 計畫事業ヨリ除ク
四〇	湯島天神町三丁目ヨリ 橋ヲ經テ押上町ニ至ル	三、八七七	二二	四〇	湯島天神町三丁目ヨリ 橋ヲ經テ押上町ニ至ル	三、八七七	二二	新設 計畫事業トス
四一	池ノ端仲町地内	三〇〇	二二	四一	池ノ端仲町地内	三〇〇	二二	新設 計畫事業トス

補助線ノ部

注意(番號欄中印ヲ付シタルハ幹線ヲ示ス)

一	錦町三丁目ヨリ一ツ橋通 町ニ至ル	一〇九	一米	一	錦町三丁目ヨリ一ツ橋通 町ニ至ル	一〇九	一米	延長增加幅員擴張 幹線ニ編入ノ上都市 計畫事業トス
二	越中島町ヨリ濱園町ニ至 ル	一、〇二五	一八	二	越中島町ヨリ濱園町ニ至 ル	一、〇二五	一八	幅員擴張シ幹線ニ 編入ノ上都市計畫事 業トス
三	靈巖町ヨリ石島町ヲ經テ 砂町ニ至ル	二、一九一	一一	三	靈巖町ヨリ石島町ヲ經テ 砂町ニ至ル	二、一九一	一一	幹線ニ編入ノ上都市 計畫事業トス
四	東平井町地内 押上町ヨリ柳島町ニ至ル	一、四九二	一五	四	東平井町ヨリ四ツ橋ヲ經テ 押上町ニ至ル	四、二三六	二二	二線連結幅員及延長 增加シ増加ノ分ハ 市電氣事業經濟ノ負 擔
五	元術町ヨリ錦町三丁目ニ 至ル	二、一八	一六	五	元術町ヨリ錦町三丁目ニ 至ル	二、一八	一六	原案三路線及其ノ中 間ヲ連絡シ幅員ヲ全 線ニ突ツテ增加シ ノ分ハ市電氣事業經 濟ノ負擔
六	湯島五丁目ヨリ東竹町ニ 至ル	二、六〇	一六	六	湯島五丁目ヨリ東竹町ニ 至ル	二、六〇	一六	原案三路線及其ノ中 間ヲ連絡シ幅員ヲ全 線ニ突ツテ增加シ ノ分ハ市電氣事業經 濟ノ負擔
七	春木町一丁目ヨリ春木町 二丁目ニ至ル	三、五五	一六	七	春木町一丁目ヨリ春木町 二丁目ニ至ル	三、五五	一六	原案三路線及其ノ中 間ヲ連絡シ幅員ヲ全 線ニ突ツテ增加シ ノ分ハ市電氣事業經 濟ノ負擔
八	北箱町ヨリ矢ノ倉町ニ至 ル	一、六六七	一六	八	北箱町ヨリ矢ノ倉町ニ至 ル	一、六六七	一六	村松町附近ニ於テ路 線少ク變更
九	南千住町千束ヨリ同町地 方橋場ニ至ル	七、九二	一一	九	南千住町千束ヨリ同町地 方橋場ニ至ル	七、九二	一一	新設



一、二四 清住町ヨリ深川區大島町

一、四六五

一一 一二四

清住町ヨリ深川區大島町

一、四六五

一五 幅員擴張

○四十二番(子爵大河内委員) 東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年割ノ件、議第二號デアリマス、ソレト議第三號、東京都市計畫事業中變更ノ件、此二件ニ付テ審議ノ結果ヲ御報告致シマス。

特別委員會ハ二月九日ニ第一回ノ委員會ヲ開キマシテ引續キ三回開會致シマシタ後、詳細ノ審議ヲ必要ト致シマシタ結果、東京全市ヲ三區ニ分チ各々小委員ヲ設ケテ審議致シマシタ、即チ神田川以北、隅田川以西ヲ第一區隅田川以東、本所深川ノ兩區ヲ第二區、殘リノ全部即チ神田川以南、隅田川以西ヲ第三區ト致シマシテ小委員ガ之ヲ分擔シタノデアリマス、此各小委員會ハ何レモ三回又ハ四回ノ審議ヲ重ネマシテ、尙ホソレノ、現状ノ視察ヲ致シタノデアリマスサウシテ慎重ナル審議ヲ進メマシタル結果、尙ホ此小委員ノ議ヲ進メル爲ニ再ヒ小委員會ノ決議前ニ特別委員會ノ開會ヲ必要トスル事情ガ生ジマシテ、更ニ特別委員會ヲ二月二十一日ニ開キマシタノデアリマス、サウシテ各小委員會ニ於テ審議スル事項ノ統一ヲ圖リ、尙ホ互ニ關聯シテ居ル所モアリマスノデ、ソレ等ノ點ニ付テ打合セテ致ス爲ニ再ヒ特別委員會ノ開會ト相成リマシタ、其結果トシテ各委員會ノ決議ガ出來マシタ爲メ、昨二十七日更ニ特別委員會ヲ開キマシテ、最後ノ決議ヲ

見タ次第デアリマス。

此特別委員ハ頗ル質問モ多岐ニ涉リ、又種々ノ御意見ガ出テ居ルノデアリマス、之ヲ順序ヲ追フテ申スコトハ却テ不便ト思ヒマスカラ、此等ノ特別委員會ニ起リマシタ事項ヲ最モ御了解ノ往クヤウナ順序ニ排列シマシテ極ク簡單ニ御報告致シマス。

先ツ今回ノ東京都市計畫ノ方針ノ原則ト致シマシテハ、大正十年五月ノ都市計畫委員會ニ於テ決定シタルモノヲ尊重シ、尙ホ燒跡ニ對シテ便宜上ノ修正ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ大火災以前ノ都市計畫ト、大火災後ノ都市計畫トハ相當考慮セラルベキモノデアツテ、此考慮ノ結果都市計畫ニ修正ヲ加ヘタト云フコトデアリマス、又東京市ノ計畫ノ中ニ特ニ路面電車ニ對シテ考慮ヲ拂ツタノデアリマス、東京市ニ於テ今後敷設セントスル希望ヲ持ツテ居リマス電車線或ハ其運轉系統ノ便宜ノ良イヤウニ考慮シ、且ツ現在ノ道路ヲ成ルベク利用シ、殊ニ道路ヲ考慮ニ入レタコトハ十二間以上ノモノニ對シテ最モ大ナル利用ヲ圖ツタノデアリマス、而シテ此道路ヲ擴張致シマス場合ニ於テハ、左右兩側ヲ成ルベク均當トスル、併シ永久建築物ノ殘ルモノハ左右均當ニシナイデ、場合ニ依ツテハ一方ノ側ノミヲ徵收スルコトモ起ルノデアル、ソレカラ道路ノ傾斜即チ阪デアリマス、阪ハ二十五分ノ一ト云フノ原則トスル、此二十五分ノ一ノ例ハ赤坂ノ豊川稻荷

前ノ傾斜ガ即チソレデアリマス、ソレカラ六間以上ノ道路ノ交叉點ハ必ス隅切リヲ行ツテ角ヲ落  
スノデアリマス、ソレカラ五本ノ交叉ト云フコトヲ成ル丈ケ避ケル、道路ハ必ス交叉點ニ於テハ  
四本トスル、運河或ハ川沿ヒノ所ニハ原則トシテ工場ヲ設ケサス若クハ倉庫ヲ造リ得ルヤウニ道  
路ヲ附ケナイ、即チ川或ハ運河カラ若干ノ距離ヲ隔テ、道路ヲ附ケルコトニシテ、且ツ川ノ交叉  
點モ矢張隅切リヲヤリ、且ツ橋ヲ架ケマス場合ニハ橋臺ヲ特ニ廣ク設ケマシテ掛替若クハ修繕ノ  
トキノ便宜ニ備ヘタト云フノデアリマス、是ガ東京ノ都市計畫ニ對スル大體ノ方針デアルト云フ  
當局ノ説明デアリマス。

之ニ對シテ主モナル質問ハ全部ノ街路運河計畫ト云フモノハ、土地區劃整理ト合セテ行フモノ  
ナルガ故ニ實行可能ニナルノデアアル、殊ニ四十七議會ニ提出セラレタル所ノ豫算案ハ、全部ノ土  
地區劃整理ヲ國ニ於テ行フト云フ建テ前ノ下ニ立テテ豫算デアアルガ、之ヲ議會ニ於テ一億六百三  
十七萬圓削除セラレタ爲ニ、十二間以上ノ道路ヲ國ニ於テ施行シ、十二間以下ハ市ニ於テ施行ス  
ルト云フコトニナツタノデアツテ、其間土地區劃整理ガ國ト市ト二途ニ別レタ爲ニ、此豫算ヲ以  
テハ到底實行ガ出來ナイと思フ、ソレニ對シテハ當局ハ更ニ一億五百萬圓ノ追加豫算ヲ横濱ノ部  
ノ特別委員長カラ御報告ノアリマシタ通り議會ニ提出シテ、之ヲ市ニ貸付或ハ其他ノ適當ナル方

法ニ依テ援助ヲスルノデアルト云フコトデアアルガ、此一億五百萬圓ノ追加豫算ヲ出シテモ尙且ツ  
街路計畫運河計畫ヲ遂行スル上ニ於テハ不足デアアル、殊ニ土地ノ補償費ハ一億七千萬圓トナツテ  
居ルノデアツテ、之ヲ約六十八萬坪計リノ買收費ニ充テ、アリマスガ、其坪當リハ即チ二百五十  
二圓デアアル、此單價デハ到底街路運河ノ敷地ヲ買收シ、此計畫ヲ進メルコトガ困難デアアル、尙ホ  
十二間以下ノ道路ニ對シテ市ガ計畫ヲ進メテ往ク場合ニハ此單價ガ百八十圓ニナツテ居ルノデア  
ル、同一ノ場所デ一方ハ十二間以上、一方ハ十二間以下ノ場合ニ於テ斯ノ如ク單價ニ差ノアル以  
上ハ、是ハ殆ト不可能デアリハシナイカト云フ議論ガ最モ盛ンデアツタノデアリマス。

ソコデ今當局ガ算出セラレタ所ノ二百五十二圓ト云フ平均單價ハ、ドウ云フ調査ニ依テ之ヲ見  
出サレタノデアアルカ、土地ノ價格ノ評價ト云フコトニ付テ頗ル慎重ナル審議ヲ進メラレタノデア  
リマスノミナラズ借地權ニ對シテモ、或ハ借家權ニ對シテモ日本橋京橋ノ如キ、地價ノ最も高イ  
所ニ於テハ、極メテ鄭重ナル質問應答ヲ致シマシテ、且ツ參考ノ爲ニ各區ノ區長ニ出席ヲ求メ、  
區民ノ意見ヲ徵シ、或ハ勸業銀行、建物會社等ニ於テ大體ノ見込額等ヲ徵シ、或ハ又當局ノ調査  
ノ中ノ特ニ地價ノ高イ所デアルトカ、或ハ安イ所デアルト云フヤウナ點モ、ソレノ、殆ト各町ニ  
就テマデモ調ベヤウト云フ位ニ充分ナ審議ヲ致シタノデアリマスガ、當局ニ於テハ、此調査ハ非

常ナ確實ナル材料ニ依ツテ調査ヲ進メタノデアリ、尙ホ其調査カラ出テ來タ所ノ價格ヨリモ約三割モ餘裕ガ取ツテアルノデアルカラシテ、此金額ヲ以テ全部ノ計畫ヲ遂行スル自信ガアルト云フ言明ガアツタノデアリマス、併ナガラ是ガ萬一不可能ニ陥リマシタ場合ニハ、是ハ已ムヲ得ナイノデアルカラ追加豫算ヲ提出スルカ、或ハ計畫ノ一部ノ執行ヲ延期スルカ、變更スルト云フコトモアリマセウガ、先ヅ主トシテ計畫ノ一部ノ執行ヲ延期スルカ、或ハ一部分ハ追加豫算ニ依リ一部分ハ計畫ノ執行ノ延期ヲスルト云フ兩者ノ併用ニ依ツテ、此全部ノ計畫ヲ遂行スルヨリ外ニ方法ハ無イト云フノデアリマシテ、是レ以上ハ特別委員會ハ當局ヲ信賴スル外ハナイノデアルカラシテ、此方針ノ下ニ議ヲ進メヤウト云フコトニナツタノデアリマス、而シテ此土地區劃整理ハ、本年ノ五月カラ八月ニ掛ケテ繩張ハ完成スル豫定デアアル、繩張ト云フノハ、所謂土地區劃整理ノ圖面ダケガ完成スルノデアアルガ、換地處分ヲ致ストカ或ハ代金ヲ支拂ヒマストカ、斯ウ云フヤウナ事柄ニ付テハ、色々亦實際上ノ問題ニ立入ツテ長引クコトガアリマセウガ、恐ラク三年ノ後ニハ完成スル見込デアルト云フ當局ノ答辯デアリマシタ、路線ノ中テ殊ニ議論ノ多クアリマシタノハ、品川カラ三ノ輪ニ至ル主要幹線デアリマシテ、其中日本橋區ニ關係スル部分ガ最も多クノ議論ガ出タノデアリマス、即チ此部分ノ幹線ニ對シテハ東京市ノ案ガ提出セラレマシタ、即チ東

京市ノ案ト申シマスノハ、都市計畫ニ依ツテ定メラレタノデアリマシテ、仲通ヲ擴張スルト云フ案デアリマス、ソレカラ日本橋區ノ區會ノ決議ニ係ル修正案ガ出タノデアリマス、ソレハ復興院ノ原案ヨリモ更ニ東ニ寄ツタ案デアリマシテ、本材木町ヲ擴張スルト云フ案デアリマス、即チ東京市ノ案ハ復興院ノ原案ヨリモ更ニ西側デアリ、日本橋區ノ案ハ復興院ノ原案ヨリモ更ニ東側デアアルノデアリマス、之ニ付テ種々質問應答或ハ意見ノ交換等モアリマシタガ、結局原案ガ認メラレマシテ復興院ノ計畫セラレタ所ノ幹線ヲ採用スルコトニナツタノデアリマシテ、是ハ修正ニハナリマセウデシタガ、其他ノ修正ニナリマシタ部分ハ、本日御手許ニ差上ゲマシタルガ如ク、此報告中ニ明細ニ記サレテ居リマシタカラ、一々私ガ此處デ説明スル必要ハナイト思ヒマス、唯、斯ノ如キ修正ガ成立スルニ至リマシタノハ、主トシテ市ノ當局ノ意見、ソレト復興院當局トノ意見ガ一致致シマシテ尙ホ特別委員會ニ於キマシテ、之ヲ是ナリト認メタノニ依ツテ總テ是等ノ修正ガ成立ツタノデアリマス、此際特別委員會ニ於テハ、特ニ道路擴張ノ場合ニハ兎角ニ不平ガ起リ、其執行ガ困難ニナル虞レガアルノデアルカラ、此特別委員會ニ於テ十分ニ此點ヲ明カニシテ置キタイト云フ意見ガ出マシタ、ソレニ付テモ色々論議ガ交サレタノデアリマスガ、特別委員會トシテハ飽マデ兩側ヲ平等ニ取ルト云フコトヲ原則トシタイ、萬已ムヲ得ザル場合、即チ當局ノ

方針デアツタ所ノ、永久建築物ガ在ルトカ、或ハ道路ノ連絡上ドウシテモ已ムヲ得ナイト云フヤ  
ウナ時ニノミ兩側ヲ不均一ニ切取ルコトヲ認メヤウト云フコトニナツタノデアリマス、而シテ、  
御手許ニ差出シマシタ如ク修正ノ結果、豫算ノ上ニ於テハドレダケノ差異ガ起ルコトニナルカト  
言ヒマスルト、國ノ施行シマス分トシテハ極メテ僅デアリマシテ、五十萬一千圓ノ増加ニナリマ  
ス、即チ十二間以上ノ道路ニ對シテハ、此修正ノ結果五十萬一千圓ノ増加ニナリマス、市ノ施行  
シマス範圍ニ於テハ、即チ十二間以下ノ道路ニ對シマシテハ、六百六十七萬九千八百圓餘ノ増加  
ニナルノデアリマス、是ハ市ノ負擔ガ更ニ増スノデアリマス、併ナガラ東京市トシマシテモ、是  
非今日是ダケノ計畫ヲ進メテ行キタイト云フ御希望モアリマス、勿論今日ノ東京市ノ財政ニ於テ  
ハ、是ハ不可能ノ事デアリマスルカラシテ、當然國ガ援助ヲサレルモノト云フ假定ノ下ニ熱心希  
望サレタコト、思ヒマス、ソレカラ道路ノ鋪裝ニ關シマシテハ當局ノ御意見ハ、十八間以上ノ道  
路ニハ總テ鋪裝ヲスル、但シ費用ヲ節約スル爲ニ、現在ニ於テ餘リ繁華ナラザル道路ハ單ニ中央  
ニ止メルノデアツテ、其左右ハ依然トシテ舊來ノ如ク砂利敷ニシテ置ク考デアルト云フノデアリ  
マス、街路ニ關シマシテハ、極ク簡單ニ申シマスレバ概略是デ盡キタト思ヒマス、詳細ハ印刷物  
ニ依ツテ御承知ヲ願ヒマス、運河ニ付キマシテハ、是ガ亦非常ナ議論ノ焦點トナツタノデアリマ

ス、本所、深川、京橋、芝區等ノ運河ニ對シマシテハ殆ド意見ハアリマセヌデシタ、最モ問題ト  
ナリマシタノハ、日本橋區會及ビ東京市ノ熱心ナ希望デアリマシタ所ノ、西堀留川ヲ延長致シマ  
シテ神田川ニ連絡シテ貫ヒタイト云フ希望デアリマス、是ハ東堀留川ヲ改修スルト云フ原案デア  
リマシテ、西堀留川ハ其儘ニナツテ居ツタノデアリマス、ソレデ日本橋區會ハ、東堀留川ノ改修  
ヲ廢メテ貫ヒタイサウシテ西堀留川ヲ延長致シマシテ、秋葉原驛附近ニ於テ神田川ニ連絡スル、  
是ハ鐵道ノ貨物ガ運搬セラル、ニ便利ナルノミナラズ、神田川ノ水ガ循環スル、衛生上カラ言ツ  
テモ是ハ必要ナ事柄デアルカラ、是非ソレヲヤツテ貫ヒタイト云フ希望デアリマス、市モ亦此運  
河ニ付テハ非常ニ熱心ナル希望ガアリマシテ、昨日ノ委員會ニ於テ色々其運河ノ論議ガ進ンダノ  
デアリマス、即チ特別委員トシテハ、希望條件トシテ決議致シタノデアリマスルガ、其意味ハ、  
東堀留川ノ改修ヲ廢メマシテ之ヲ埋立テ、シマウ、尙ホ龍閑川、ソレハ今川橋ノ架セラレテ居ル  
川デアリマス、是ハ今日殆ド運河トシテ利用サレテ居ラナイノデアルカラシテ、之ヲ埋メテシマ  
ウ、此兩川ヲ埋メテシマウコトニ依ツテ相當ノ財源ガ出ルノデアリマスルガ、元來西堀留川ヲ延  
長スルト云フ爲ニ總工費トシテハ七百四十萬圓ヲ要スルト云フノデアリマス、此兩川ヲ埋立テマ  
シタダケデハ到底是ダケノ金ハ浮イテ來ナイノデアリマス、更ニ審議ノ結果、濱町川ヲ埋メテモ

差支ナイ、濱町川ト云フノハ東堀留川ヨリ尙ホ更ニ東ニ在リマシテ、極ク細イ河川デアリマス、是ハ神田川ニ延長シテ居ル川デアリマスガ、今日是ガ殆ド利用サレテ居ラナイ、此兩岸ニハ倉庫ノ如キモノモ殆ド無イノデアアル、之ヲ埋立テレバ更ニ八千坪ノ地面ガ出來ルノデアリマシテ、之ヲ一ノ財源トシテモ宜シイ、結局東堀留川、龍閑川ヲ埋メテ三百四十萬圓ト云フ財源ヲ得ラレル、更ニ濱町川ヲ埋メマスレバ百萬圓乃至百二十萬圓ノ財源ヲ得ラレルノデアリマスガ、結局二百八十萬圓ノ不足ニナルノデアリマス、是ハ已ムヲ得ザレバ、今日ハ單ニ用地ヲ買收スルニ止メテ置イテ、川ノ新鑿ト云フヤウナ事ハ讓ツテモ宜シイ、萬已ムヲ得ナケレバ本所、深川ヲ貫通シテ居リマスル所ノ横十間川是ハ今度ノ計畫ニ依ツテ改修セラル、コトニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ土地買收ニ止メマシテ、此改修費用デ新運河ノ開鑿ニ充テル、執行ヲ延期シテモ宜シイト云フ事等ヲ條件トシマシテ希望條件ヲ決議シタノデアリマス、即チ御手許ニアリマスルガ如キ決議ハ其結果生レタノデアリマス、尙ホ其他希望事項トシテハ、同ジク印刷シテアリマスルガ如キ事ガ議決サレマシタ、ソレハ都市計畫事業促進ニ關スル件デアリマス、是ハ主トシテ十二間以下ノ道路ニ沿ヒマシタ所ノ土地區劃整理ヲ、市ガ單獨ニヤルト云フコトハ到底不可能デアリマスカラ、一日モ早く政府ノ財政的援助ヲ與ヘテ貫ヒタイト云フ希望デアリマス、ソレカラ市内鐵道線路ニ

關スル件、是ハ政府ノ經營ニ係ル市内鐵道——市内ヲ通過致シマスル鐵道線デアリマス、是ハ交通ノ安全ヲ圖ル爲ニ未設線ハ勿論ノコト、既設線ト雖モ地下線若クハ高架線ニシテ貫ヒタイト云フ希望デアリマス。

運河ニ關スル件ハ唯今申上ゲマシタ通りデスガ、但シ此運河デ私ハ西堀留川ヲ延長スルト云フコトヲ申シマシタガ、是ハ當局ノ計畫上東堀留川ヲ延長シテモ差支ヘナイ、東ヲ堀ルトモ西ヲ堀ルトモ何レデモ着手ノ便宜ニ依ルコトデアルカラ、一方ヲ延長スレバ其代リニ一方ハ埋立テルノデアリマス。

是ガ議第二號ニ關スル御報告デアリマス。

議第三號東京都市計畫事業中變更ノ件ト云フノハ、今度ノ此計畫ノ結果、當然前ノ都市計畫事業中ニ變更ヲシナケレバナラヌノデアリマス、御手許ニ出テ居ルト思ヒマスガ、此計畫ガ認メラレタ以上ハ是丈ケノ改正ヲシナケレバナラヌノデアリマス、是ハ殆ト議論モナク質問モナク即決致シマシタ次第デアリマス。

○十六番(小坂委員) 委員長ニ對シテ簡單ニ質問致シマス、街路計畫ノ幹線ニ關シテ東京驛カラ下横町ニ至ル街路ハ、原案ニハ幅員五十米デアリマスガ、ソレヲ四十四米ニ御修正ニナリマシタ理

由如何ト云フコトヲ第一ニ伺ヒマス、ソレカラ原案ノ幹線番號ニ依リマスルト四十七デ止ツテ居リマスガ、修正案ハ四十八以降五十一迄アリマスガ、更ニ委員會ニ於テ案出サレタ所ノ新線路デアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス。

○四十二番(子爵大河内委員) 唯今ノ横町線ハ是ハ第三小委員會ニ於テ決定セラレタノデアリマス、詳シイコトハ私ノ申上ゲマシタノデ足りマセヌデシタナラバ、第三小委員長ノ大橋君カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ承知スル所デハ此線ハ五十米ニスルノ必要ハナイ、四十四米デオイト云フ御意見デアツタト承知シテ居リマス、ソレカラ後ノ四十八以下ト云フノハ一ツノ路線ノ中デ削リマシタリ或ハ附ケマシタリシタ所ガアリマス、ソレヲ入レテ新シイ番號ガ付キマシタ爲ニ、是丈ケノ番號ガ殖ヘタノデアリマス。

○十六番(小坂委員) 此四十八番ノ芝公園増上寺前ヨリ濱町一丁目ニ至ル路線デアリマス、是ハ原案ニハ見當ラナイヤウデアリマスガ、恐クハ委員會デ御計畫ニナツタコト、思ヒマス、此路線ハ極メテ必要ナ路線デアリマシテ、私ハ趣旨ニハ賛成デアリマスガ、今回ノ御慶事ニ付キマシテ皇室ニ於テハ有難キ思召ヲ以テ東京市ニ御下附ニナリマシタ芝ノ離宮ニ貫通スル所ノ道路デアリマス、此御下賜ニナリマシタ恩賜公園ハ將來ニ於キマシテ市民ノ保健上最モ必要ナ公園デアリマス

ガ、此路線ガ何故ニ鐵道ノ路線ニ出ナイデ打切ツタノデアリマスカ、私ハ恩賜ノ公園ニ到着シナイコトヲ遺憾ニ思フノデアリマス委員會ニ於テ、此點ニ付テ論議セラレマシタカト云フコトヲ伺ヒマス。

○五十一番(大橋委員) 唯今十六番カラノ御質問デアリマスガ、東京市ニ此度御下賜ニナリマシタ芝離宮ニ參リマス道計リデナク、隅田川河口ノ修築ヲシテ東京灣ノ築港ガ出來マシタナラバ隅田川水陸聯絡ノ便ヲ圖ルコトハ、東京市ノ復興事業ニ要スル物資供給ノ上ニモ、又平生ノ商賣上ノ關係ニ於テモ極メテ必要デアルト云フ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ鐵道省カラ御出席ノ委員ハ、如何ニモ彼處ハ鐵道トノ關係モアル、今ノ御質問ノ芝離宮ノ如キモ鐵道ヲ横切ツテ道路ヲ附ケルト云フコトハ現在ニ於テハ出來ナイ、斯ウ云フ御意見ノ爲ニ、今御質問ノ芝離宮其他水陸聯絡ノ便利ノ上ニ於キマシテ肝要ナル方面ニ道路ノ延長ガ遺憾ナガラ出來ナイノデアリマス、而モ其ノ事ハ強ヒテヤルト致シマスレバ豫算ノ上ニ非常ニ大ナル關係ヲ持ツノデアリマス、鐵道省ノ費用ニ依ラズ都市計畫事業ノ費用ヲ以テ遂行スルコトハ、現在ノ豫算スラモ現在ノ計畫ノ實行如何ト憂慮シテ居リマス場合デアリマスカラ、今御注意ノ點ハ遺憾ナガラ實行ガ出來ナラツタノデアリマス。



○直木長官 先程委員長カラ御報告ノアリマシタ中ニ、少シ伺ツテ見タイト思ヒマスノハ、今度道路ガ修正ニナリマシタ結果トシテ金ガ國ノ方ハ増シマシタ、市ノ方ニモ六百六十萬圓増シマシタ、其ノ金ハ國ノ援助ヲ相當ニ期待スル積リデアルト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、委員長ニ於ケル御考デアルカ知リマセヌガ、委員會ニ於テハ六百六十萬圓ニ對シテハ、主トシテ市内電車ノ通ホル所ヲ電氣局ノ希望ニ依テ特ニ擴ゲタノデアリマシテ、ソレガ爲ニ殖ヘタ金ハ市ノ電氣局デ都合ヲシテ、絶好ノ機會ニ道幅ヲ擴メテ便利ニシタイト云フ意味デ私共ハ了解シテ居リマスガ、國ノ援助ヲ直チニ要求サレマシテモ六百六十萬圓ノ出所ハムツカシト思ヒマス、市ノ當局ニハ大體サウ云フ風ニ話ガ運ンダコトヲ申シテ置キマシタ、ソレカラ尙ホ序ニ申上ゲマスガ、西堀留川ヲ延長シテ神田川ニ通ズル運河ヲ作ルト云フ御希望ガ出テ居ラス、豫算ノナイガ爲ニ何トカ作ルヤウニト云フ御希望ノ點ハ了解致シテ居リマスガ、直チニ其ノ御希望ニ副ヒ得ルヤ否ヤト云フコトニ付ナハ當局モ苦心シテ居ルト云フコトヲ一應申上ゲテ置キマス、濱町川、龍閑川、東堀留川ヲ埋立テ、ソレヲ賣ツテ財源トシテ尙ホ足りナイ所ハ横十間川ノ工事費ヲ持ツテ來テ埋メロト云フコトデアリマスガ、是ニハ埋立ガ第一ニ出來ナケレバナリマセヌ、埋立テル土ハ、東京市ノ燒跡ニ出來タ土ノ處分ガ出來テ了ツタ後ニハアリマセヌ、從ツテ運河ノ開鑿ニ依テ得タ土

ヲ運搬シテ埋メナケレバナリマセヌ、埋メテ、ソレヲ賣ツテ初メテ工事費ガ出來テ其ノ工事ニ着手スルノデアリマスカラ、幾ラ急イデモサウ急ニハ出來マセヌ、從ツテ新シイ運河ニナルベキ敷地ハ區劃整理ノ換地處分ニ割込ムコトハ出來マセヌ、埋メルコトニ極マツタ場所モ埋メル迄ハ交換ノ土地ニ成リ得ナイノデアリマスカラ、日本橋區ニ於テ一萬五千坪ノ地面ヲ失フ次第デアリマシテ其ノ失ツタ土地ニ對シテ之ニ換ヘルベキ土地ノ面積ガアリマセヌカラ、ソレ丈ケ日本橋區デハ減ル譯デアリマス、故ニ實行上區劃整理ヲ遂行スルニ付テ其點ハ困難ヲ感ズルノデアリマス、サレバトテ運河ノ必要ハ之ヲ認メテ居リマスカラ、之ヲ實行スルニ當テハ新シキ運河ニ當ル敷地丈ケ區劃敷理ノ區域カラ省イテ了イマシテ、現在「バラツク」ガアリマスタラバ、ソレヲ換地處分デ他ノ方面ニ移シテ、區劃整理ガ出來タ後新シイ買收ノ方法ニ依テ新河川ノ敷地ヲ得、一方ニ埋立ヲヤレバソレヲ賣却シテヤラナケレバナラヌカト思ヒマスノデ、實行ノ段取リトシテソレ等ノ點ニハ苦心ヲシテ居リマスガ、未タ名案ヲ得マセヌノデ、御希望ニ直チニ副ヒ得ルヤ否ヤハ當局トシテハ暫ク留保シテ置キタイト思フノデアリマス、一應此點ヲ申上ゲテ置キマス。

○四十二番(子爵大河内委員) 私ノ申上ゲマシタコトガ一寸違ツテ居リマシタ、道路修正ノ結果、

國ノ分擔ハ五十萬一千圓増加スルト申シマシタガ、減ズルノデアリマス、ソレカラ市ノ負擔ノ六百六十萬圓ノ問題ハ、私ハ小委員會ニ居リマセヌ、昨日ノ委員會デ市長ガ愈々イケナカッタラ國カラ金ヲ借リルヨリ仕方ガナイト云フ御言葉ガアリマシタカラ、私ハ左様ニ了解シタノデアリマスガ市ノ電氣局トノ打合セモアツタサウデアリマシテ、大體今直木長官ノ言ハレタ通りデアルト思ヒマスカラ、此點モ訂正致シテ置キマス。

○四十三番(永田委員) 唯今東京市ニ直接關係シタ問題ガ出マシタカラ、一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、電氣軌道ヲ掛ケマス爲ニ此機會ニ道路ノ幅員ヲ増加シテ置クコトハ非常ニ便宜デアリマスノデ、東京市トシテハ電氣事業ノ特別經濟ノ中カラ相當ノ金ヲ出シテ、道路ヲ擴張シテ貫ヒタイト云フコトヲ申シマシタノデ、其金ガ六百六十萬圓ニ上ルノデアリマス、ソレハ政府ノ援助ヲ期待シテ居リマセヌ、ケレドモ現在其ノ金ガアリマセヌカラ電氣事業ノ經濟ニ於テ借金ヲシナケレバナリマセヌ、公債ヲ募集シナケレバナリマセヌ、其ノ公債ヲ募集スルコトヲ許サレナイト融通ガ附カナイコトニナリマス、此點ニ於テ政府ノ御了解ガナケレバ遂行ガ出來ナイト云フ始末ニ在ルノデアリマスカラ、其事ヲ一寸申上ゲテ置キマス。

○四十一番(福田委員) 委員長ノ御報告ニ依リマシテ計畫ヲ決定シタコト及其ノ御趣意ハ能ク分リマシタガ、此事業ヲ完成スルノハ十七年度ガアツテ、ソレ迄ノ年度割ガアツテ、例ヘバ一年ニハ幹線ニ手ヲ着ケテ、ソレガ終ツテカラヤルノデアリマスカ、四本モ五本モ何處モ同時ニ手ヲ着ケルノデアリマスカ、或ハ品川カラモヤラウシ九段カラモヤラウト云フノデアチラカラモ此方カラモ手ヲ同時ニ着ケルノデアリマスカ、其ノ邊ハ仕事ノ能力ニ應ジテ片ツ端カラ手ヲ着ケルノデアリマスカ、實行ニ關スルコトデ各々考慮スベキコトデアリマスカラ、其ノ邊大體ノ御方針ガ御分カリニナツテ居ルナラバ御伺ヒシタイノデアリマス。

○直木長官 御答致シマス、今度ノ都市計畫中、幹線ガ大體極マルノデアリマスガ、土地區劃整理ニ依テ土地ヲ買收セズニ、地主カラ一割丈ケ土地ノ無償提供ヲ受ケテ、其ノ話ノ附キマシタ所カラ何處デモ、手が着クノデアリマス、此會議ノ續キニ土地區劃整理ノコトヲ提案致シマス、サウスルト六間トカ三間トカ道路ノ計畫ガ立チマス、ソレガ極マリマシタナラバ東京ノ燒跡全部十萬坪ニ別チマシテ、一區毎ニ土地整理委員會ヲ作ツテ、其ノ委員會ニ御決定ノ案ヲ示シテ、ソレガ早ク承認ヲ與ヘラレマシタナラバ、其ノ區域内ノ道路ハ早ク出來ルコトニナルノデアリマス、若シソレニ紛糾シタル問題ガ起リマスルト、其ノ區域丈ケハ遅レルノデアリマス、サウシテ手ヲ着ケマスノハ全體一齊ニ手ヲ着ケル積リデアリマス。

○四十一番(福田委員) サウ致シマスルト詰マリ區劃整理ガ總テノ街路ニ一貫シテ往ケバ宜シイノデアリマスカ、サウデナク或ル線路ハ頭ノ方ガ區劃整理ガ、出來タガ下ノ方ハマダ出來ヌトカ、又乙ノ道路ハ末ノ方ハ土地買收其他ノ整理ハ出來タガ、頭ノ方ハ出來ヌト云フヤウナ、隨分妙ナ結果ガ生ズルト思ヒマスガ、サウ云フ事ハ當局モ御認メニナツテ居ルノデアリマス。

○直木長官 或ハサウ云フ事ガ一時的現象トシテ起ルノハ已ムヲ得ナイト思ツテ居リマス。

○四十一番(福田委員) 何等カサウ云フ場合ニハ、斯ノ如キ方法ニスルト云フ當局ノ御考ハ定マツテ居ラナイノデアリマスカ、マア其時ニ依ツテ委細宜シクヤラウト云フ御考デアリマスカ。

○直木長官 土地ノ事情ニ應ジマシテ不便ノ無イヤウニ、現状ニ徴シテ執行スル積リデアリマス。

○二番(渡邊委員) 横町線ノコトニ付テ一寸當局ニ御伺ヒシタイノデアリマスガ、今度ノ特別委員會ノ御審議ニ依リマシテ、横町線ハ二十八間ガ二十四間ニ修正サレタヤウデアリマシテ、此修正ハ、實ハ私共ノ考デハマダ足りナイト考ヘテ居ル、モット狭クテ宜イト考ヘテ居リマスルガ、ソレニ付テ當局ニ御伺ヒシタイノデアリマスガ、元來此線路ハ、元内務省當局デハ十八間ト云フ都市計畫委員會時代ノ御計畫モアリマシタヤウニ考ヘテ居リマスルガ、吾々モ委員會ニ常ニ關係シ

テ居リマシテ、其委員會デ種々計畫ノ後意外ニ二十八間ト云フコトニナツタノデアリマスルガ、今度ノ復興院ノ御計畫デモ、二十八間ト最初ノ御計畫ニ御定メニナツタノハ、前ノ都市計畫委員會ノ決議ヲ尊重スルト云フ極ク平易ナ意味デ御定メニナリマシタノデアリマスガ、若シサウデナク、今度ノ燒跡ニ付テハ、道路系統ガ變ルカラ、改メテ計畫ヲ立テルト云フ意味デ此二十八間道路モ御計畫ニナツタトシマシタナラバ、唯廣イ道ヲ御造リニナルコトハ、單ニ美觀トカ或ハ裝飾ト云フヤウナ意味デ御造リニナルノデアリマセウカ、ソレトモ交通ノ必要カラ御造リニナルカ、其點ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、ソレニ關聯シテ、自分共ノ意見ヲ定メマスニ付テ參考マデ御伺ヒシタイ點ハ、此路線ハ初メカラ東京驛東口ト云フコトデ必要ヲ認メテ、系統モ路幅モ考ヘラレテ居ルト思フノデアリマスガ、東京驛ハ此計畫ノ後ニ勿論「ヤード」ガ全部取拂ハレルト考ヘマスガ、サウ云フコトニナルノデアリマセウカ、ソレニ續イテ、東京驛ノ中央ヲ貫通シテ四十間道路ニ、此横町線ガ直接ニ道路トシテ連絡スルトガ出來ルカ否カ、其點ヲ御伺ヒシテ置キタイ、意見ヲ申スコトハ避ケマスガ、若シ此四十間道路ト直通シナイトシマシタナラバ、東京驛ノ背面ノ口ハドノ邊ニ御附ケニナルノデアリマスカ、只今ノ入口出口ノ其背ロニ御附ケニナリマスカ、其口ノ附ケ方ニ依リマシテハ、今度全部「ヤード」ガ取拂ハレルト致シマスレバ此東京驛カラ出テ行ク交

通殊ニ自動車ノ交通其他ノモノハ非常ニ自由ニ道ヲ擇ビ得ルコトニナリマスカラ、餘程此二十八間道路ノ意味ガ變ツテ來ルコト、考ヘルノデアリマス、殊ニ吳服橋ノ通りハ、永代橋ヲ通ツテズツト江東迄參ツテ居リマス、ソレカラ鍛冶橋ノ通りモ永代橋ノ所へ出テ江東迄通ズル譯デアリマスカラ、非常ニ重要ナル幹線デアリマス、ソレデハ十五間ガ十八間ニ擴ゲラル、ノミデアリマスガ、非常ニ交通ノアル道路ト考ヘマス、而モ東京驛カラノ交通モ之ニ這入ルト思ヒマスガ、ソレヨリ遙ニ廣イ道路ヲ僅ニ數町ノ間ニ設ケラレルノデアリマスガ、此吳服橋通及ビ鍛冶橋通ヨリハ更ニ此横町線ノ交通ノ方ガ多イト御考ニナリマス根據ガ何處ニ在リマスカ、此點ヲ伺ヒタイ、ソレト、桶町并ニ數寄屋橋ノ八間道路ガ新タニ擴張サレルノデアリマスガ、是ガ東京驛ノ方ヘ向ツテ外濠線ヲ通ツテ架橋サレルノデアリマスカ否カ、此架橋ガ出來ルコトニナリマスレバ、更ニ横町線ノ効用ハ少ナクナルト考ヘルノデアリマス、尙ホ考ヘテ見マスルト、東京驛ノ東口カラ出ル交通ハ、從來ノ外濠線ガ十五間道路ニナルノデアリマシテ、片側街ノ十五間道路ハ二十間以上ノ効用ガアラウト思ヒマス、ソレデ東京驛ヲ出テ交通ガ、東京驛ノ入口ガ真中ニ出來ナイノニ拘ラズ、態々横町線迄ヤツテ來テ、真直ニ東ニ行ク交通ハドレ程アリマスルカ、其點モ考慮シナケレバナラヌト考ヘマス、兎ニ角外濠線ヲ左右ニ直グ分レテシマウコトモアリマスカラ、横町線ノ交

通ノ程度ヲソレ程多ク御考ニナル根據ガアリマスルカ、ソレニ付テ伺ヒマス、意見ハ後ニ申上グマス。

○直木長官 第一ニ横町線ヲ二十八間ト定メタ理由如何ト云フコトニ對シテハ、是ハ既ニ大正十年ニ御議定ニナツテ居リマスルノガ二十八間デアリマスカラ、ソレヲ其儘尊重スルト云フ意味ノ外何等別ノ意味ハ無イノデアリマス、主トシテ既ニ議定セラレタモノヲ尊重スルト云フノ原則トシタ結果デアリマス、其次ニ「ヤード」ヲ取拂ハレタ時ニハ直接四十間道路ト此横町線ガ連絡スルカドウカ、是ハ鐵道ノ方ノ當局カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、又東口ヲ何處ニ置イテ、構内ガドウ云フ風ニ整理サレルカ分リマセヌガ、唯私共承ル所ニ依リマスルト、四十間道路ト横町線トガ、現在アリマス停車場ノ下ヲ通ツテ直接連絡スルト云フコトハ困難デアル、寧ロ鐵道當局デハ不可能ト思ツテ居ラレヤシナイカト思ヒマスガ、ソレハ鐵道當局カラ御答ヲ願ヒマス、次ニ驛ノ入口ノ附ケ方、東口ガ何處ニ出來ルカ、之モ鐵道當局デナイト分リマセヌガ、未ダ議ガ定マツテ居ラナイサウデアリマスガ、恐ラク横町線ノ正面ガ入口ニナルト思ヒマス、當然其處ヘ持ツテ行カレルモノト思ヒマス 特ニ横町線ノ交通ガ多イ理由ノ根據ハ何處ニ在ルカト云フ此點ニ付テハ、無論驛ヲ出テ道ハ四方ニ附イテ居リマスガ、停車場ヲ真正面ニ見ル道路ハ自ラ人ガ通り易

イ傾向ガアリマス、縦令吳服橋線、鍛冶橋線ガアリマシテモ、真正面へ大通ガ出來マスレバ自然其處ヲ通ルコトニナルト思ヒマス、他ニ補助線ガアリマシテモ、大通ニハ相當立派ナ店舗モ出來マスルカラ、其點ニ交通ガ相當多カルベキモノト思ヒマス、桶町ト數寄屋橋カラ這入りマス道ハ、鐵道當局ト相談ヲシマシテ、是ハ出來ルダケ橋ヲ渡シテ、能フナレバ四十間道路ノ西口迄連絡シテ貫ヒタイト云フ交渉ヲヤツテ居リマスルガ、是ガ果シテ成ルカ成ラヌカハ分リマセヌガ、鐵道ガ總テ高架ニナリ橋サへ出來マスレバ自由ニ抜ケラレル譯デアリマス。

○五十番(後藤委員) 只今渡邊委員カラ御質問ノ鐵道ニ關係スル事ヲ申上ゲマス、東京驛ノ東ノ方ニアリマス「ヤード」ハ東京上野間ガ連絡シマスル曉ニ於テハ、線路ヲ撤廢シ「ヤード」ハ無クナリマス、サウシテ全部高架ニナルノデアリマス、ソレカラ東口ヲ設ケルト云フコトハ、確定シタノハ最近ノコトデアリマシテ、未ダ設計ハ致シマセヌ、ドノ邊ニドウ云フ工合ニ附ケルコトニナルカ定マツテ居リマセヌケレドモ、此桶町線ガ決定セラレル以上ハ、其位置ヲ考慮致シマシテ成ベク適當ニ其位置ヲ定メヤウト思ツテ居リマス、ソレカラ桶町線ガ、東京驛前ノ四十間道路ト續タカドウカト云フ御質問ハ、是ハ東京驛ノ構造上、又技術上不可能デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス。

○二番(渡邊委員) 只今ノ點ニ關聯シテイマ一度鐵道當局ノ方ニ御尋ネシタイト思ヒマスガ、桶町ノ二十八間道路ガ出來マス時ニ、二十八間ト云フ非常ニ廣イ道路ガ、幾分デモ必要ヲ認メル根柢ト云フモノハ、四十間道路ト連絡ガ出來テ始メテ意味ヲ成スノデアリマス、ソレガ無クテ、只今伺フ所デハ、桶町線ノ外ニ更ニ數寄屋橋線桶町線ガ出來ル、サウシテ鐵道ノ下ヲ通ルト云フコトニナルト、殆ド桶町線ノ必要ハ、無クナルトマデハ申シマセヌガ二十間以下デモ宜シイト思ヒマス、併シ兎ニ角鐵道ノ停車場ノ正面ニ道ヲ附ケタイノダト云フ意味デスウ云フヤウナ廣イ道路ヲ御造リニナルナラバ、萬難ヲ排シテ下ヲ潜ツテ四十間道路ト連絡サセルト云フコトニ努メナケレバナラヌト思フノデアリマス、私曾テ都市計畫地方委員會ノ速記録ヲ讀ンダノデアリマスガ、ソレニハ大道良太氏ガ鐵道當局ヲ代表シテ御出席ニナツテノ言明ニ、東京驛ノ下ハ通セルト云フ事ヲ言ハレテ居ル、ノミナラズ自ラ提案者トナツテ希望條件ガ可決サレテ居ツタト考ヘマスガ、桶町ノ地帯收用ヲスル事ト、東京驛ノ下ヲ貫通スルト云フ事ヲ、之ヲ希望條件ニシテ地方委員會ヲ中央委員會ニ來タヤウニ記憶シテ居リマスルガ、其時ノ東京驛ヲ貫通スルコトガ出來ルト云フ議論ヲサレタ主唱者ハ鐵道當局ノ方デアツタト速記録ニ依ツテ記憶シテ居リマスガ、此點ニ付テ鐵道當局員ハ只今事實上不可能デアルト云フ御話ニナリマシタノニ、更ニ御伺ヒスルノハ如何カ

ト存ジマスルガ、尙ホ一應御研究ノ餘地ハゴザイマセヌモノデアリマセウカ、一寸御伺ヒシタイ。

○五十番(後藤委員) 唯今、先年横町線ノ問題ガ委員會ニ掛カリマシタ時ニ大道委員カラノ提案、又大道委員ノ意見ノ御話ガゴザイマシタガ、其ノ當時ノ事ハ能ク存ジマセヌガ、委員トシテ意見ヲ述ベラレタコト、存ジマス、直接ノ當局ノ御話デハナカツタカト思フデアリマス、今日私ノ考トシテハ東京驛ノ構造上並ニ東京驛ノ地形上之ヲ聯絡スルコトハ出來ナイト思ハル、ノデアリマス、強ヒテソレヲ考ヘテ見ロト云フ御希望デゴザイマスレバ考ヘテモ見マスガ、是ハ先ヅムツカシイ事ト御承知ヲ願ヒマス。

○五十二番(大橋委員) 先刻大河内委員長カラ詳細ノ御報告ガアリマシタガ、私ハ特別委員ニ選マレマシタ際ニ、一番東京ノ復興計畫ノ困難ナル神田日本橋京橋丸ノ内芝ノ方面ノ東京ノ中心地帯ノ部ノ小委員ノ主査ヲ致シマシタ關係カラ、第一ニ此復興計畫ハ昨年ノ議會デ協賛ヲ得タ金額デ實行ガ出來ルヤ否ヤト云フコトニ付テ當局ニ質問ヲシタノデアリマス、ソレニ付テ當局カラ段々御説明ガアリマシタガ、今日ニ至ル迄私ハ尙ホ是ガ實行可能ナリト云フ確信ヲ得ルコトガ出來ナイノデアリマス、餘リ私ハ委員會デ此事ヲ質問シタ爲ニ、非常ニ當局ノ反感ヲ受ケ、又委員諸君

カラハ綿密ニ過ギル、杞憂ニ過ギナイト云フヤウナ御非難モ受ケタノデアリマス、私モ自分一身ノ爲メナラバ餘リ執拗イ御質問ヲ申上ゲ又左様ナ杞憂ヲ皆サンノ前ニ申上ゲテ、非難ヲ受タルコトヲ敢テ好ム譯デアリマセヌガ、此大計畫ガ決定サレマシテ、直チニ實行シテ往カナケレバナラヌ時ニ當リ、昨年ノ大震災以來既ニ半ケ年ヲ經過シテ居ルノデアリマス、若シ今日定メマシタ計畫ガ其ノ實行ニ際シテ不可能ナリトシテ更ニ吾々委員ニ逆戻リデモスルヤウナ場合ガアリマシタナラバ、帝都復興ノ爲ニ非常ナル損害ヲ與ヘルコトニナルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ自分ニ受タル御非難ナドヲ願ミルノ違モナク、此委員ノ職責ヲ誠實ニ竭クス爲ノニハ飽ク迄モ自己ノ信ズル所ヲ申上ゲマシテ、殊ニ本日ハ會長ノ大臣閣下モ御出席ノコトデモアリマスカラシテ、相成リマスコトナラバ、吾々ハ安心ヲ與ヘル丈ケノ御言明ヲ願ヒタイト思フコトガアルノデアリマス、茲ニ私ハ其ノ要點ヲ掲ゲマシテ御質問申上ゲマスカラ、姑ク御聴取リヲ願ヒマス。

第一ニ幹線並ニ補助線、唯今吾々ノ審議シテ居リマス所ノ原案及運河、是ハ先刻モ直木長官カラ御説明ノアリマシタ通り、土地區劃整理ト共ニ並行シテ之ヲ實行スルト云フ御方針デアルコトハ、過日來屢々其ノ御説明ヲ伺ツテ居ルノデアリマス、然ルニ土地區劃整理ニ關スル法律ハ、昨年十二月二十四日ニ特別都市計畫法ト云フ名前ノ下ニ近ク發布サレテ居リマス、然ルニ其ノ實施ノ

細目ハ勅令ヲ以テ無論御明示ニナルコトデアリマセウガ、未タ今日迄其ノ勅令ハ發布ニナラナイノデアリマス、同時ニ此幹線ナリ補助線ナリヲ決定スル時ニ土地區劃整理ヲ並行スルト云フ其ノ並行スル所ノ區劃整理法ノ方法ノ原案ハ、マダ本會ニ御提出ガナイノデアリマス、若シ單獨ニ實行ノ出來ル案ナラバ、直チニ幹線並ニ補助線ヲ極メルガ良イカ知リマセヌガ、土地區劃整理ヲ並行シテ實行スルト云フ場合ニ、單獨ニ幹線並ニ補助線ヲ御極メニナルコトハ果シテ適當ナル方法デアルヤ否ヤ、是ガ第一ニ私ノ伺ヒタイ要點デアリマス。

又更ニ補助線並ニ土地區劃整理ハ、昨年ノ臨時議會ニ於テ、是ハ東京市ノ復興豫算ノ中カラ全ク削除サレタノデアリマス、就テハ其ノ實行ハ、來ル五月ノ總選舉ヲ終ヘマシテ、臨時議會ガ今年ノ六月ニナリマスカ或ハ七月ニナリマスカ知リマセヌガ、其ノ臨時議會ニ政府ヨリ先刻來御話ノ一億五百萬圓ト云フ金ヲ、更ニ東京市並ニ横濱市ノ自治團體ガ經營スベキ補助線及土地區劃整理ノ財源トシテ貸付ケル案ヲ議會ニ御提出ニナルノデアリマスガ、其ノ議案ヲ議會ニ御出シナリマシタ曉、果シテ議會ガ之ヲ可決スルカ或ハ否決スルカ、今日ノ如キ政界ノ模様並ニ國家財政上ノ狀態カラ考ヘテ見マシタナラバ、果シテドウ云フ決議ヲ見ルデアラウカ今日ヨリシテ誰モ之ヲ豫知スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、ソレ故ニ既ニ議會デ協賛ヲ受ケタ豫算ニ配スルニ、

是カラ議會ニ出シテ協賛ヲ受クルヤ否ヤ未確定ノ豫算ヲ以テシテ、確定シタモノト未確定ノモノトヲ併用シテ此計畫ノ方針ヲ此處デ極メテ了マウト云フコトハ、果シテ適當ナル途デアルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、是ガ第二ノ質問ノ要點デアリマス。

其次ニ幹線道路ノ豫算金額ノコトデアリマス、二億五千七百萬圓ノ約七割ノ金額ハ用地及補助費デアリマス、如何ニ用地及補助費ガ復興事業ノ豫算中其ノ主モナルモノヲ占メテ居ルカト云フコトハ其ノ金額ノ上カラ申シマシテモ明瞭ナル事實デアリマス、此事ニ付キマシテ私ハ當局者ノ説明ヲ綜合シテ實ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、茲ニ斯ル委員會ニ於テ其ノ遺憾ノ點ヲ露骨ニ申上ゲマスコトハ或ハ前申シマス如ク當局ノ反感ヲ買ヒマスカ知レマセヌガ、私ハ之ヲ露骨ニ申上ゲテ如何ニ此原案ガ杜選ナモノデアるかト云フコトヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、元來東京ノ如キ既ニ都會ヲ成シテ居ル町ニ、假リニ品川カラ千住ニ至ル道路ヲ開クニシテモ、又總テノ道路ヲ開クニシテモ、ドノ線ハドノ位ニ土地買收費ヲ要スルカト云フコトヲ、各路線別ニ就テ調べナケレバナラヌモノデアルト思フノデアリマス、然ルニ當局者ノヤリ方ハ各路線ニ付テ實際ノ事情ヲ御調べニナツタ形跡ヲ認ムルコトハ出來ナイノデアリマス、唯空漠ニ日本橋ノヤウニ高イ所ハ幾ラ、下谷ノヤウナ所ハ幾ラト云フ如ク簡單ナル土地ノ上中下ノ單價ヲ取寄セテ、六十八

萬坪ノ幹線道路ノ豫算ヲ御作リニナツテ居リマス、私ハ路線別ノ豫算ノ提出ヲ御願ヒシタ所ガ、幹線並ニ補助線共ニ路線別ノ豫算ハ出來テ居ラナイノデアリマス、其ノ適例ヲ申上ゲマスレバ最初内閣會議ニ復興計畫ヲ御提出ノトキハ、是ハ噂デアリマスカラ眞偽ハ分リマセヌガ、其ノ時ハ一百圓トシテ御提案ニナツテ居ッタト聽イテ居リマス、然ルニ昨年議會ニ御提案ノトキハ一坪二百圓トシテ御提案ニナツテ居リマス、サウシテ今度議會ニ向ツテハ、井上委員長カラ横濱ノ部ノ委員會ノ報告ニ於テ述べマシタ如ク、土地區劃整理ト補助線ハ地方團體ニ任カセルト云フ精神ノ下ニ、豫算金額ヲ減ラシタ結果トシテ金が剩ツタ、剩ツタカラ貴族院ニ御提出ノ提案ノトキハ二百五十二圓トシテ御出シニナツタ、之ヲ見テモ少シモ用地並ニ補助費ニ對スル確信ガ當局ニナイト云フコトハ事實ニ於テモ明カデアリマス、サウシテ一坪二百五十二圓ハ良イトシテモ、二百五十二圓デ充分ニ出來ルカト云フコトヲ過日來委員會ニ於テ質問申シテモ、稻葉土地數理部長ハ充分出來ルト御答ニナツテ居ルノデアリマスガ、出來ルナラバ二百五十二圓ガ議會デ確定サレテ一億七千百萬圓ト云フ金が幹線道路ニ就テ決定シテ居ルニモ拘ラズ、更ニ土地區劃整理ヲ適用シナケレバ一面ニハ出來ナイト言ツテ居ラレル、成程安イ所ヲ買ツテ其ノ道路ヲ移シテオヤリニナルカ知リマセヌガ是ハ甚ダ實際ニ於テ困難ヲ生ジヤシナイカト思フノデアリマス、殊ニ先刻直木長

官カラ御説明ノ通り、此計畫ガ極マツタナラバ各區ニ於テ、特別都市計畫法ニ依ツテ地主ト借地權者ヲ以テ組織スル土地區劃整理委員會ナルモノヲ設ケ、此會ニ於テドノ土地ハドウスルト云フコトノ決定ヲサセルト云フ御話デアリマスガ、果シテ斯ウ云フ事ガ、而モ利害關係ノ錯綜シテ居ル人間ヲ集メテ、急速ニ決定セシメヤウトシテモ、ソレハ殆ド不可能ノ企デナイカト云フコトノ心配ガアルノデアリマス、殊ニ先刻申シマス如ク計算ノ基礎ヲ持タナイデ、極メテ薄弱ナル材料ニ依ツテ用地及補償費ノ豫算ガ出來テ居ルノデアリマス、其ノ豫算ヲ吾々カラ見レバ、實際ニ要スル金額ノ半分位ヨリナイカラ實行ノ曉ニハ倍クラキニ増サナケレバナラヌヤウナ豫算ヲ以テ、政府ハ土地所有者、借地權者並ニ借家權者ニ迄モ完全ニ補償ヲ實行シ得ルヤ否ヤ、假ニ五百圓ノモノヲ二百圓ヲ補償シテ苦情ヲ言ハヌヤウナ方法ハ、事實ニ於テナイコト、確信スルノデアリマスガ、如何ニ直木長官ガ熱心ニ御辯明ニナリマシテモ事實補償ノ金額ヲ完全ニ補償シナイ、少ナイ金額ヲ以テ委員會ニ附シテ是デ決定サセヤウトシテモ、果シテサウ云フコトガ出來ルモノデアルヤ否ヤ私ハ大ニ疑ヒナキヲ得ナイノデアリマス、私ハ實ニ前ニオ出デニナル農商務次官ガ火保問題デ非常ニ御苦ミニナツテ居ルノヲ承知シテ居リマスガ、火保問題ハ保險證券ノ裏面ニ地震ノ場合ニハ保險金ヲ支拂ハナイト云フコトガ明白ニ記載セラレテアルニモ拘ラズ、アノ通りノ紛擾



ヲ來タシテ居ルノデアリマス。

然ルニ法律ニ依ツテ土地ノ所有權ヲ認メ、借地權ヲ認メ、借家權ヲ認メテ、其上ニ震災以來ハ「バラツク」モ出來テ居ル、其「バラツク」ヲ一坪二十五圓デ立退カセル、一坪二百圓モ三百圓モ掛ケタモノデモ、ソレヲ二十五圓ヤソコラデヤラウト云フコトハ空想モ極マル、サウ云フ空想的ノ金額ヲ以テ、サウシテ是ガ執行ノ任ニ當ルト云フコトハ、私ハ却ツテ急ガバ廻レト云フ原則ニ反スルト思フ、適當ナ金額ヲ、用意シテ公平ナル方法ニ依ツテオヤリニナルナレバ宜イケレドモ、無利ナ金額ヲ以テ無利ニ遂行スルト云フコトハ、不平ノ起ルノハ當然デアリマス、之ニ依ツテ當局ニ於テハ執行ノ確信ガアルヤ否ヤト云フコトヲ、私ハ特ニ内務大臣閣下ノ御辯明ヲ得タイノデアリマス、東京ノ部ノ委員會ハ政府ノ責任ヲ以テ此豫算デ出來ルト言フ以上ハ、之ヲ信ジテヤラセルガ宜イト云フ意見デアリマシタ、横濱ノ委員會ハ、足ラヌケレドモ政府ハ追加デ、モ出スノデアラウト云フ意見デアリマスガ、此豫算ハ前ノ内閣デ作ツタノデアリマスガ、大藏大臣トシテハ追加豫算ハ困ルト云フ御言明ガアツタト云フコトデアリマス、既ニ此内閣ノ大藏大臣ガ、追加豫算ハ困ルト言フ以上ハ、昨年ノ議會デ定メタ豫算ノ範圍内デ出來ルダケノ計畫ヲ立テルノガ親切ナル委員ノ職責デハナイカト思フノデアリマス、内務大臣ハ其責任ヲ負フテ是デ出來ルト云フ御

確信ガアルヤ否ヤ、其御言明ダケハ此席ニ於テ確ニ伺ツテ置ク必要ガアルト思フ、次ニ、先刻既ニ大河内委員長カラ御話ガアリマシタガ、國デヤル所ノ幹線道路ノ豫算ガ一坪二百五十二圓、東京市ガ經營スル所ノ補助線ガ一坪百八十圓、是ハ最初百圓カデアツタガ議會ニ提出ノ時ハ兩方共二百圓ノ豫算デアツタヤウニ伺ツテ居リマス、ソレガ前ニ申スヤウナ理由ノ爲ニ衆議院デ修正ニナツタ場合ニ、剩ツタモノヲ打込ンデ今申シタヤウニナツタノデアリマス、同シ區域デ同シ値打ノ土地ヲ甲ハ二百五十二圓、乙ハ百八十圓ト云フ是デ執行ガ出來マスカ、是ガ出來マスレバ出來ル理由ヲ明細ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、殊ニ私ハ、コノ間中カラ、質問スレバ質問スル程驚ク事實ヲ認メル、此補助線ハ東京市ガヤルト云フコトデアリマスガ、是ハ先刻カラ御話ノアリマシタ通り、東京市ハ財源ガ無イカラ國家カラ其金ヲ借リル、政府ハ之ニ同意ヲ表シテ次ノ議會ニ出ス、併ナガラ其責任ハ東京市ニアルト云フノデアリマス、償還ノ義務モ東京市ニアル、執行ノ責任モ東京市ニアル、然ルニ東京市ハ、補助線并ニ土地區劃整理ニ付テ、果シテ復興局ガ計畫シタ豫算デ、自分ノ責任ヲ以テ出來ルヤ否ヤト云フ事ヲ、調査會ヲ開イタコトモ何モナイノデアリマス、唯東京市長ガ、時代ノ空氣ノミヲ顧慮シテ、金ハ一億五百萬圓貸シテ呉レルナラバヤル積リデアルト云フ考ヲ當局大臣ニ出シタダケデアラウト思フ、苟モ東京市ガ、今日自分

ノ財政ガドウ云フ状態デアルカ、東京市ノ現在ノ道路デサヘモ完全ニ舗装ガ出来ナイデハアリマセヌカ、之ヲヨリ多キ面積ノ道路ヲ造ツテ、サウシテ完全ニ償還義務ヲ果シ得ルヤ否ヤ、東京市ノ當局者トシテ、此處ニ東京市長ノ御居デノ前デ、彈劾的ノ言論ヲスルト云フコトハ甚ダ濟ミマセヌガ、唯ヌラリクヲリトオヤリニナルト云フコトハ甚ダ市ノ爲ニ不忠實ナルモノデアラウト思フ殊ニ又驚クコトガアリマス、此補助線ノ豫算ヲ一昨日直木局長ニ承リマスルト、一億五百萬圓ノ中ニ補助線ノ豫算ガ六千八十五萬圓、用地ノ補償費ハ幾ラデアルカト云フト、補償費ハ二千五百一十一萬圓、面積ハ幾ラカト云フト四十一萬坪デアル、然ルニ此二千五百一十一萬圓ヲ四十一萬坪デ割リマスレバ一坪五十二圓ニシカ當ラナイ、一坪五十二圓デ百八十圓ト云フノハ何處カラ來マスカ、更ニ要領ヲ得ザルコト甚シイノデアリマス、先刻モ申上ゲマスマヤウニ吾々ハ勿論此豫算ヲ議決スル權能ハアリマセヌ、豫算ニ付テ彼是レ申ス權能ハ無イカ知レマセヌガ、既ニ定マツタ豫算ガアル、其豫算ハ、國家ノ財政ノ上カラ追加豫算ハ出来ヌト云フコトガ判明シテ居レバ、其豫算ノ定マツタ範圍ヲ以テ成ベク出来ルダケノ計畫ヲシテ市民ニ安定ヲ與ヘルノガ今日帝都復興ノ上ニ重要ナル問題デアルト思フ、茲ニ幹線并ニ補助線ノ計畫ヲ、而モ之ニ要スル費用ノ一部ハ更ニ議會ノ協賛ヲ經ナケレバ財源ノ無イモノヲ、東京市ハ勿論財源ハ無イノデアリマスカラ、其財

源ノ未確定ナル所ノ計畫ヲ此場合御確定ニナルト云フコトハ、果シテ此復興事業ノ完成ガ早く出来ルモノデアルヤ否ヤ、私ハ途中ニ行惱ンデ是ガ非常ニ東京市ニ攪亂ヲ起スモノデハナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス、實ニ怪シカラヌノハ復興院ノ當局デ、先日モ秘密會ノ様子ヲ新聞記者ニ漏シタト云フコトヲ柳澤伯爵ハ憤慨セラレマシタガ、一昨日モ新聞ヲ見マスルト、私ガ何カ煽動スルヤウナ事ガ新聞ニ出テ居ツタノデアリマス、秘密ヲ漏スト云フコトハ實ニ不都合千萬デアリマス、復興事業ニ付テハ萬違算ナキヤウ計畫セヨト云フコトハ御詔勅ノ趣意デアリマシガ、此豫算デ以テ此計畫ヲ執行スル御覺悟ガ果シテ大臣トシテ有ルカ無イカ、此點ハ此決議ヲシマス前ニ私ハ大臣ノ確信アル御答辯ヲ一言承ツテ置キタイト思フノデアリマス。

○直木長官 大臣ノ御答ニナリマス前ニ、只今ノ、問題ノ出テ居リマシタ事ニ付テ、私カラ一應誤解ヲ解イテ置キタイト思ヒマス、第一ニ、幹線道路、補助道路ノ計畫ガ出来タ所デ土地區劃整理ノ計畫ガ出来ナケレバ意味ヲ成サナイデヤナイカ、サウ云フ事ガ果シテ適當ナル手段デアルカドウカト云フコトデアリマスガ、此六間以上ノ計畫ガ出来マセヌト土地區劃整理ノ計畫ノ立テヤウガナイノデアリマス、是ガ骨デアリマシテ骨ガ動イテ居リマシテハソレニ依ツテ出来ル末ノ計畫ガ立タナイノデアリマス、既ニ今日ニ於テモ修正ガアチコチニアリマスマヤウナ次第デ、是ガ御議

定ニナルノヲ待ツテ始メテ區劃整理ノ計畫ガヤレルノデアリマス、其點ハ左様ニ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ既定豫算ト追加豫算トヲ混用シテ此計畫ヲ立テタノハドウ云ウ譯カト云フコトデアリマスルガ、兎ニ角市ガヤラウガ國ガヤラウガ、今度ノ道路計畫トシテハ是非是ダケノ計畫ハ必要デアルト思フノデアリマス、財政ノ點ニ付テモ十分努力ハシマスガ、計畫トシテハ一應御議定ヲ願ツテシマイマセヌト、是ガ金ノ點カラ出來ナクナルカ知レマセヌガ、計畫ダケハ立テ、ソレガ成ルカナラヌカ、最後ノ財政問題カラ行當ルカドウカ、ソレハ姑ク別トシテ、ソレヲ躊躇シテ居ツテハ總テノ計畫ガ出來ヌ譯デアリマスカラ、大體ニ於テ是ダケノ金ハ出來ルモノトシテ計畫ヲ立テタノデアリマス、次ニ補償費ヲ色々ニ變ヘタト云フ點デアリマスガ、百圓ト云フコトハ會テ無カツタノデアリマス、一坪二百圓デ提案シマシタ所ガ、十二間以上ノ幹線道路ダケ國デヤレ、斯ウ云フコトニナリマシタノデ、十二間以上ノ幹線道路ハ主トシテ在來ノ道路ヲ取擴ゲル部分ガ多イノデアリマスカラ、一般ノ平均價格カラ云ヘバ土地ノ値段ノ高イ所、表テ地ノ所ヲ取ルコトニナリマスカラ、自然其方面ノ補償費ガ餘計掛ルト云フ意味ニ於テ、二百圓ヲ二百五十二圓ニシナケレバ表テ地ノ多イ十二間以上ノ道路ヲ遂行スルコトハ出來ナイノデアリマス、其結果市ノ方ニ於テハ百八十圓ニ落チテ來タノデアリマス、市ニ於テハ補償道路ヲヤルノデアリマスカラ、

少シ位ガ低イ、安イ裏地ヲ主トシテ用ヒテヤル道路デアルカラ百八十圓デ宜イト云フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ十二間以下六間以上ノ面積四十一萬坪デ二千五百萬圓ヲ割ルト五十二圓ニシカナラナイト云フコトデアリマスガ、ソレハ地主カラ一割無償デ提供シテ貰フモノガ澤山アルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、五十六萬坪ガ無償提供ノ地面デアリマス、三間四間ノ道路ニ費サレル土地ガアリマスカラ、ソレヲ差引キマスノガ二十四萬坪デアリマス、残りノモノガ總テ無償デ道路計畫ノ中ニ這入ツテ來ルノデアリマス、直チニ二千五百萬圓ヲ四十一萬坪デ割ラレテハ算盤ハ出テ來ナイノデアリマス、最後ニ秘密ヲ漏シタト云フコトデアリマスガ、其點ハ十分注意シテ重ネテ左様ア事ノ無イヤウニ致シタイト思ヒマス。

○五十一番(大橋新太郎君) 只今ノ用地費ノ適當デナイト云フコトハ御話ガ違フ、燒失區域ノ土地ノ面積ガ七百萬坪、之ニハ實際區劃整理ヲスル必要ノ無イ所モアリマスカラ道路ニナルモノハ約百分ノ八ノ豫定デアルコトハ承ツテ居リマス、ソレデ五十六萬坪ノ用地ノ中カラ今ノ二十萬坪ノ道路ヲ引キマスルト、殘ル所ハ三十二萬坪、六十八萬坪ガ幹線道路デ四十一萬坪ガ補助線ノ面積、之ヲ合シマスルト百九萬坪ニナリマス、ソレニ對シテ三十二萬坪ノ土地ハ、是ハ殘ラズ取リマシテモ漸ク幹線并ニ補助線ニ要スル土地ノ面積ノ三割ニシカ當リマセヌ、百九萬坪ニ對スル三

十二萬坪ハ三割弱デアリマス、三割弱ノ土地ハ幹線ニモ補助線ニモ用ヒラレルノデアリマス、ソレヲ一方ノ國デアル分ノ二百五十圓ハ繁華ナ所デアル、市デアル補助線ハ繁華デナイカフト云フヤウナ、サウ云フ事實デナイコトヲ以テ、斯ル金額ニ關係スル問題ヲ胡麻化シテ答辯セラル、ト云フコトハ沙汰ノ限リデアルト思ヒマス、此事ヲ一言茲ニ申上ゲテ置キマス。

○會長(水野内務大臣) 大橋君ノ御質問ニ對シテ私カラ御答へ致シマス、大橋君ハ此事ニ付キマシテハ、私ノ前任者時代カラシテ評議員デアラレタト思ヒマス、其當時カラシテ此事ニ付テハ御心配ニ相成ツテ居ルト思フ、而モ土地區劃整理ヲヤラナケレバナラヌト云フ事ヲ御發議ニナツタノハ大橋君デアルト云フコトヲ私ハ聞イテ居ル、私ハ前ニ如何ナル事ガアリマシタカ、ソレハ承知致シテ居リマセヌ、私ガ就任致シマシタ後ノ事ヲ申上ゲテ置カウト思フノデアリマス。

前ニ二百圓ノモノヲ二百圓ニシタトカ、机ノ上デ良イ加減ノ考案ヲシタトカ云フ御懸念モアルヤウデアリマスガ、當局者トシテ、又官吏トシテ斯ノ如キ事ハアルマイト思ツテ居リマス、今直木長官ノ辯明ニ依ツテモ決シテ左様ナ事ハナイト云フコトデアリマス、ソレカラ大橋君カソ度々御直言ニナリマシテ洵ニ市ノ爲ニモ此事業ノ爲ニモ衷心ヨリ御心配ニナツテ居ルコトハ私ハ非常ニ感謝シテ居ルノデアリマス、當局ガ反感ヲ持ツトカ、サウ云フコトハ決シテ誰モ思ツテ居リマセ

ヌ、虚心坦懐ニ復興事業ニ付テ御配慮ニ相成ツテ居ルコト、考ヘテ居リマス、唯大橋君ノ御詞ノ中ニ餘リ酷イコトデハナイカト思ハレルノハ當局ガ誤魔化シテヤルトカ、杜選ナコトヲヤルトカ云フ御話ガアリマシタガ、決シテサウ云フコトハナイト云フコトヲ御承知置キテ願ヒマス、前ノ時モ無論サウデアツタラウト思ヒマス、今日ニ於テモ復興局ノ當局ガ非常ナル熱心ヲ以テ事ニ當ツテ居ルト云フコトハ私ハ茲ニ其ノ事ヲ明言致シマシテ、大橋君ガ非紳士的ノ言葉ヲ御用ヒニナツテ誤魔化シデアルトカ言ハレタコトハ、決シテ私ハ左様ナ事ハナイト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置キマス。

ソレカラ此事ニ付キマシテハ私ハ大橋君トモ非常ニ御心配ニナツテ居ルト云フコトヲ親シク御話ヲ承ツタ、私モ亦胸襟ヲ披イテ申上ゲテ居ルノデアリマス、大體大橋君ノ御心配ハ此豫算ヲ以テ此事業ガ遂行シ得ラレルヤ否ヤト云フ點ニ在ルト思ヒマス、之ニ付キマシテハ實ハ大橋君ヨリハヨリ以上ニ私ハ心配ヲシテ居ルノデアリマス、果シテ是ガイケルデアラウカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ實ニ苦心モ致シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ之ニ付キマシテハ、段々調査ヲ逐ゲタノデアリマス、大橋君ノ主タル御心配ノ點ハ、土地買収ニ付テ坪二百五十二圓デア

ス、此點ニ付キマシテハ私モ實ハ多少心配ヲ持チマシタノデ、復興局並ニ市ノ人達ニ就テ段々調べテ貰ツタ、ドウ云ウ基礎ニ依リ、如何ナル根據ニ依テソレガ出テ居ルカト云フコトヲ段々調べテ貰ツタ、サウ致シマスルト是ハ決シテ机ノ上デ百圓デ良イトカ、百圓ハ安イカラ二百五十二圓ニシテ置カウト云フヤウナコトデ出來テ居ナイヤウデアリマス、其ノ根據ハ昨年ノ十月、先任者ノ時デアリマスガ、其ノ時カラ段々調べマシタノデアリマス、東京市並ニ横濱市ノ土地收用ニ付キマシテ、今日初メテ行フノデナイ、明治二十二年頃カラ東京ノ市區改正ガアツテ、私モ曾ツテ其ノ市區改正ノ委員ニモナリ委員長ニモナツタコトガアリマシテ、土地ノ買收モ屢々ヤツタコトガアリマスガ、其ノ時カラノ買收ノ價額モ調べマシタ、ソレカラ東京市ノ電氣局デ電車ヲ敷ク爲ニ土地ノ買收ト云フコトモ度々ヤリマシタ、又鐵道省ニ於テ鐵道ノ市内ニ於ケル擴張事業、之ニ付キマシテモ土地ノ買收ヲヤツタ、此等ノ實例ニ就テ委シク調べテ見タ所ガ、大凡ソ其平均ハ斯ウ云フモノニナル、更ニ稅務署ニ就テ調べ、或ハ勸業銀行農工銀行ノ貸付課ニ就テ調べタ、ソレ等ヲ根據トシテ出タ所ノモノガ即チ唯今謂フ此ノ坪當リノ平均價額デアリマス、勿論二百五十二圓ハ平均價額デアリマスカラ、或ハ日本橋、京橋ノ如キ市内樞要ノ所デハ坪當リ千何百圓モスルデアリマセウ、併シ又所ニ依ツテハ四五十圓ノ安イ所モアリマセウ、ソレ等ヲ平均シテ二百五

十二圓ト云フ數字ヲ得タノデアリマス、之ヲ一々其ノ場所ニ就テ何處ハ幾ラ、何處ハ幾ラト調べヨト仰ツシヤツテモ、ソレハ御無理ノ御註文デナイカト思フノデアリマス、大局カラ見テ之ガ相當デアルト云フ計算ヲ得タナラバ、ソレヲ採用シナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレマデヤツタモノゾ、怪シイカラモツトヤレト云フコトヲ言フ譯ニハ往キマセヌ、ソレカラ更ニ市ニ就テ市長カラ提出致シタモノニ付テモ、市長ハ度々買收ヲヤツテ居ル、ソレニ依テモ大凡ソ此位ノ所デ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、大橋君ハ日本橋區ノ區役所ニ就テ調べタト仰シヤツタケレドモ、是モ日本橋丈ケデモイケナイ、本所モ深川モ調べナケレバナリマセヌ、或一部ノ調べヲ持ツテ來テ、之ヲ以テ復興局ノ調ガ杜選デアルト仰ツシヤルノハ御無理デハアリマスマイカ、私ハ大橋君ノ仰ツシヤルコトヲ御無理ト申スノデハナイ、ソレ程熱心ニ仰ツシヤルコトヲ衷心感謝シテ居リマスガ、段々聽イテ見ルト大凡ソノ基礎ガ出來テ居ル、ケレドモ其ノ基礎ハ杜選ダト仰ツシヤレバ仕方ガナイ、アトハ議論デアアル、大凡ソサウ云フ所迄調べタト云フコトデアルナラバ、相當研究ヲ遂ゲタ結果デアリマスカラ、大體ソレニ依ルノ外ハナイト思ヒマス、併ナガラ實際ニ當ツテ之ヲ實行シテ見タナラバ、或ハソレデイカヌト云フコトモ出來ルデアリマセウ、或ハ又剩ル所モ出來マセウ、河川ノ改修ニシテモ鐵道ノ敷設ニシテモ港灣ノ修築ニシテモ初メノ豫算

ノ通りニ決シテ往クモノデナイ、殊ニ物價ノ高低ハ年ヲ逐フテ甚タシイノデアリマスカラ、今日見積ツテ居ツタ豫算ガ四五年ノ後若クハ七八年ノ先キニ、計算ノ狂フコトハアリ得ルノデアリマス、荒川ノ改修ノ如キモ千二百萬圓ノ豫算デアツタモノガ二千萬圓ニナリマシタ、サウ云フコトガアリマスケレドモ、之ヲ以テ當初ノ豫算ガ杜選ナリト言ヘナイト思ヒマス、物價ノ高低ニ因ツテモ變リ又工事ノ模様ニ依テモ變ハルノデアリマス、此處ニハ鐵道ノ方モ河川ノ方モ居ラレマスガ實狀ハサウ云フモノデナイカト思フノデアリマス、ソレデ此計畫ノ如キモ實際ヤツテ見レバ或ハ不足スルコトガアルカモ知レマセヌガ、大凡ソノ見込ヲ以テ是デ事業ノ遂行ガ出來ルト云フ當局ノ意見デアリマスカラ、之ニ依頼スルノ外ハアルマイト思ヒマス、ドウシテモソレデハイカヌト云フコトナラバソレハ己ムヲ得ナイノデアリマス、寧ロ或ハ剩ツテ來ルカモ知レマセヌ、殊ニ土地區劃整理ノ如キハ一割ノ無償提供ト云フコトモアリマスカラ、大概ハ是デ往ケルト云フ總テノ方面ノ意見デアリマスノデ、私ハソレヲ破ル丈ケノ材料ヲ持タナイノデアリマス、私ハ左様ニ考ヘル、ソレカラ尙ホ私ハ正直ニ申上ゲマスガ、實ハ此事業ハナカ／＼言フニ易クシテ行フニ困難ナルコト、思ツテ居リマス、一寸シタ道ヲ擴ゲルニシテモ苦情ハナカ／＼アリマス、況ンヤ區劃整理ハ隨分困難ナ仕事ト思ツテ居リマス、ソレデアリマスカラ若シ其苦情ヲ恐レ又ハ非難ヲ佈

レルナラバ寧ロ之ヲ止メテ了マウコトガ一番良イト思フ、ケレドモ東京市ノ道路ノ現狀ヲ見マシテモ市民ノ住宅ノ狀態ヲ見マシシモ、又衛生ノ有様ヲ見マシテモ、何ゾレノ時カ所謂區劃整理ヲシテ、東京市民ノ將來ノ福祉ヲ増進スルコトニシナケレバナラヌト思ツテ居ツタ、敢テソレハ今日起ツタノデナク、遙ニ震災前カラ此事ニ付テ何トカシナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ツタノデアリマス、御承知ノ如ク舊幕以來區劃ト云フモノハ不整理困難デアツテ、一度ビ火事ガアリマシテモ裏道ニ往クト蒸気唧筒ガ這入ラナイ、衛生上カラ言ツテモ一度傳染病ガ流行スレバ之ヲ救済スルノ途ガナイト云フ有様デアリマスカラ、何レノ時ヲ以テカ之ヲ何トカシナケレバナラヌト云フコトハ私共ハ常ニ思ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ不幸ニシテ此度ビ大震火災ニ逢ツテ、主ナル部分ノ燒ケタノハ東京市ノ爲ニハ非常ニ遺憾ナコトデアリマスガ、併シ今後斯ル事ハ再ビアルコトハ望ミマセヌケレドモ、斯ル事ガ萬一アツタ場合ニモ其慘害ヲ少シデモ少ナクスルコトガ市民ノ義務デハアリマスマイカ、又當局トシテモ茲ニ思ヒテ致スコトハ己ムヲ得ナイコトデナイカト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ之ニ付キマシテハ隨分費用モ要リマスシ、又實行上困難ナ事モアリマスケレドモ、須ラク萬難ヲ排シテ之ヲ遂行シナケレバナルマイト思ツテ居ルノデアリマス、ソレデ市區改正ヲヤリ、街路ノ擴築ヲヤリマス同時ニ、大幹線ヲ作ルノミ

ヲ以テハ此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌカラ、大幹線ト同時ニ、稱シテ謂フ所ノ區劃整理ト云フモノヲヤラウト云フ議ノ起ツタノモ其處デアリマス、大橋君ガ熱心ニ御主張ニナツタノモ此點ニ御着眼ニナツタカラノコトデアラウト思フ、而シテ議會ニ於テ豫算ガ修正サレテ、十二間以上ノ幹線ハ國ガ施行スルト云フコトニナツタノモ至當デアアル、十二間以下ノ街路並ニ土地區劃整理ハ自治體ニ於テ執行セシムルコトヲ適當トスルト云フ趣旨ニ於テ、一億六千萬圓ノ削除ヲ見タ、私ハ是ヲ適當デアラウト思フ、一體カラ言フト私ハ土地區劃整理ハ市ニ於テヤルノガ適當デアアルト思フ、又街路ノ如キモ十二間以上ト以下トヲ問ハズ市ニ於テヤルノガ適當ト思フモノデアリマス、是ガ自治體ノ本義デアリマス、併シ此度ノ大震災ノ如キ状態ニ於テハドウシテモ國ガ助ケナケレバナラヌト思フ、國ガ助ケル以上ハ全部國ガヤルガ良イカ、或部分ヤルガ良イカト云フト、國ガヤル部分ハ尠ナイガ良イト思フ、果シテサウ云フ意味デアツタカドウカ知リマセヌガ、十二間以上ノ幹線トカ運河トカ公園トカ云フモノハ國ガスルガ良イ、其他ノモノハ市ガスレバ良イト云フ趣旨デ衆議院デ豫算ガ削除ニナツタ、此修正ハ適當ナル修正ト思フ、全體カラ言フトサモアルベキコト、思フ、其修正ノ通り今日ヤツテ往ケバ良イノデアアル、十二間以上ノ道路公園運河ヲ四億何千萬圓デ國ガヤツテ往ケバ良イノデアアル、然ラバ之ヲヤリマスルナラバ同時ニ區劃整理

ヲヤルト云フコトモ之モ已ムヲ得ナイ、尤モ區劃整理ノ中ニ百萬坪ト云フモノハ國ニ於テ施行スベキ範圍ニ這入ツテ居リマスケレドモ、百萬坪ト云フノハ一部ニ過ギナイ、出來得ベクンバ其他ノ部分ニ對シテモ區劃整理ガ出來レバヤツタラ宜カラウ、斯ウ思ツテ居ル、サウシテ是ハ市ガヤルカ地主組合ガヤルガ宜シイ、併シ市民ガ望マナイナラバ廢メタガ宜シイ、市民ガ希望セヌ事ヲ無理ニヤル必要ハナイ、併ナガラ、市民ガ、吾々ノ幸福ヲ増進スル上ニ於テ、福利ヲ進ムル上ニ於テ是非ヤリタイト云フ希望デアルナラバ之ヲヤツタラ宜シイ、而シテ市ノ財政ヲ見マスルト、サナキダニ困難ヲ感ジテ居ルノニ震災ノ結果ニ依リマシテ市ノ財源ト云フモノハ非常ニ缺乏ニナツテ居ル、ソレデアリマスカラ、此仕事ヲ是ナリトシテ市ガ之ヲヤルコトニナリマシテモ、國ガ相當ノ援助ヲ與ヘルト云フコトハ是ハ私ハ已ムヲ得ナイト思フ、即チ相當ノ援助ト云フノハ、或ハ財政ノ上ニ或ハ技術ノ上ニ力ヲ貸シタラ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、サウシテ衆議院ニ於テ豫算ヲ削除セラレタ趣旨モ、速記録等ヲ讀ミマシタガ、區劃整理トカ六間以下ノ道路ノ擴築ヲ否ナリトシタノデハナイ、主義トシテ之ヲ自治體ニヤラセルガ宜シイ、而シテ自治體ニヤラセルニハ國ニ於テ相當援助スルコトハ已ムヲ得ナイト云フ意味ガ含マレテ居ツタ、サウ云フ趣旨デアツタヤウデアリマス、ソレデアツタナラバ、市ニ於テ之ヲ施行スルト云フ意思ガ明

カデアツタナラバ、國ノ財政ノ容ス範圍ニ於テ相當ノ援助ヲスルト云フコトモ是亦適當ナルコト  
デナイカト私ハ思フ、ソレデアリマスカラ、市ノ希望ハドウデアルカ、市ハドウ云フ風ニ考ヘテ  
居ルカト云フコトヲ第一ニ確メテ、市ガ之ヲ必要トシナケレバ、ソレナレバ廢メテシマウ、前ノ  
臨時議會デ議決シタダケノコトデアラウト思ツタガ、市ハ是非之ヲヤリタイ、此機會ヲ外セバ百  
年後ニ於テモ此事業ハ遂行ガ出來ナイカラ是非ヤリタイ、斯ク云フ意思デアルト云フコトヲ市長  
ハ度々私ニ言ツタ、單ニ市長ガ言ツタダケデモ宜イカ知レマセヌガ、ソレデ安ンズルコトハ出來  
マセヌ、市會ハドウデアアルカト思ヒマシタ所ガ、市會ハ、土地區劃整理并ニ六間以下ノ道路ノ擴  
張モシタイ、併シ之ニ付テハ、市ノ財政狀態ハ其負擔ニ堪エナイカラ、街路ノ擴築ニ付テハ二分  
ノ一土地區劃整理ニ付テハドレダケカノ補助ナリ貸付金ヲシテ貫ヒタイト云フ決議ヲシテ私ノ所  
ニ提出ニナツタ、サウスレバ是ハ市民ガ之ヲ希望スルノデアアル、市會ガ一致ヲ以テ決議シタ以上  
ハソレニ對シテ耳ヲ傾ケル必要ガアル、即チ財政ノ援助ハ是ハヤラナケレバナラヌ、ソレニ付テ  
ハドノ位金ガ要ルカ市ニ於テモ相當ノ金ヲ出シ、同時ニ國ニ於テモ援助シナケレバナラヌ、其總  
額ハ一億五百萬圓ト云フコトデアリマス、是ガ今日ノ國ノ財政トシテ容サヌト云フコトデアリマ  
スレバ是ハ拒絕スルヨリ仕方ガナイ、併シ先ヅソレダケノ事ハ國ニ於テモ考ヘヤウト云フコト

デ、大藏大臣トモ相談シマシテ、其範圍ノコトハヤラウト斯ク云フコトニナツタ、私ハ、此位ノ  
事ハ無理デモヤルコトハ已ムヲ得ナイコト、思フノデス、但シ是ハ只今御話ノ通りニ未ダ議會ノ  
協賛ヲ經テ居ルモノデハナイ、此點ガ私ハ餘程苦心ノ存スル所デアリマス、大橋サンハ、議會デ  
決議サレタ其範圍ノ事ヲヤツテ、アトハアト別ニ離シテヤツタラ宜イデヤナイカト御親切ニ私  
ニ話シテ下サツタ、御親切ナコトデアルト思ヒマス、唯此事柄ハ一日モ早クシナケレバナラヌ、一  
日早クスレバ一日早ク市民ハ安心ガ出來ルノデアリマスカラ、出來得ベクンバ、議論ハ別トシ  
テ、成ベク早ク市民ニ安心ヲ爲サシムル爲ニヤリタイト思フノデアリマス、サウスルト議會ノ開  
會ヲ待ツノ暇ガ無い、固ヨリ是ハ議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ適當ト信ジマス、議會ノ協賛ヲ得ヤウ  
ト思ヒマスガ、私ガ是ダケノ熱ト是ダケノ心配ヲ以テ議會ニ臨メバ、恐ラク議會ハ之ニ協賛ヲ與ヘ  
ルノデハナイカト思ヒマス、前ニアレダケノ修正ヲサレタノハ遺憾デアリマスガ、此熱ト此精神  
ヲ以テ議會ニ當ツテ見タイト思フ、私ハ是ガ通過ヲ希望スルノミナラズ、必ラズ通過シ得ベキモ  
ノト私ハ確信シテ居ル、此處ニモ衆議院關係ノ方モ御居デアリマスカラ、一應話シテ見マシタ  
ガ、是ハ已ムヲ得ナイト仰セラレテ居リマス、併シソレハ私人トシテノ御意見デアリマスカラ當  
テニシテ居ルノデハナイガ、併シ遅クスルナレバソレデ宜イト思フガ、急イテヤルナレバ今日カ



ラ計畫ヲ立テ、今日カラ準備ヲヤラナケレバナラヌ、實ハ今デモ非常ニ遅レテ居ルト思フ、震災後半年ニナツテ居ルノニ、ソレニ何等ノ計畫ガ出來ヌト云フコトハ甚ダ遺憾デアル、併ナガラ復興院當局ハ非常ナル熱心ヲ以テ之ニ從事セラレテ居ツタノデ、決シテ等閑ニ附シテ居ツタモノデナイト云フコトハ認メマスガ、併シ今日デモ既ニ遅レタリト云フ感ガアルノデ甚ダ遺憾ニ思ツテ居ル、況ンヤ此上更ニモウ六箇月モ遅レルト云フコトハ、私ハドウシテモ堪エ忍ブコトハ出來ナイソレデアリマスカラ此際ニ於テモ、是ダケノ費用ハ大藏當局ニ於テモ出スト云フ見込ガ立ツタ以上ハ、ソレノ準備ハヤラナケレバ市民ニ對シテモ濟マヌト思フ、其意味ニ於テ斯ウ云フ事ヲヤルト云フコトニ決心ヲシタノデアリマス、是ハドウモ今日ニ於テハ已ムヲ得ナイコトデハナイデセウカ、併ナガラ皆様ガ、是ハイカヌ、サウ云フ事ハ廢メタガ宜イデアラウ、ト云フコトデアレバ、敢テ私ハ固執シナイガ、ドウモ是ハ已ムヲ得ナイト思フ、併シ此處ニ御居デノ總テノ御方ノ意思ガ、ソレハイカヌ廢メニシヤウト仰シヤレバ固執ハシマセヌ、併ナガラ私ノ衷情ヲ申シマスレバ其通りデアリマス、而シテ此豫算ガ杜選デアルトカ、或ハ胡麻化シデアルトカ仰シヤルノハ、ドウ云フ點ガサウ云フコトデアルカ知リマセヌガ、是ハ私共、殊ニ前任者ガ非常ナ熱心ヲ以テ之ヲ爲シ、其局ニ當ツタ部長以下非常ナ熱心ヲ以テヤリ、何等私心ヲ以テヤツタ事デハナ

イ、私ハ胡麻化シノ爲ニ斯ウ云フ事ヲヤツタノデハナイト云フコトヲ明言シテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、ドウカ私ハ此趣旨デヤツテ行キタイト思フ、加之、之ヲヤルニハ貴方ノ仰シヤル通り困難モアリ苦情モアリマセウト思ヒマスガ、希クハ、東京市ノ爲ニ之ヲ是認セラル、ナラバ、一緒ニナツテ此計畫ヲ遂行スルト云フ決心ヲスルヤウニ市民ニモ御傳ヘヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ獨リ私共當局ト市ノ當局者バカリデナク、市民全體ガ一緒ニナツテ此事ニ心ヲ傾ケナケレバ此仕事ハ難カシイト思フ、併ナガラ此仕事ガ出來上リマシタル後ニ於テハ、將來吾々ノ子孫ノ爲ニ幸福トナル仕事ガ残ツタモノデアルト云フコトノ愉快ハ得ラル、ト思フ、斯ウ云フ趣旨デ之ヲヤルコトニ決心シタノデアリマスカラ、ドウゾ御議論ナリ御意見ハ總テ喜ンデ拜聴シマス、ドンナ御意見デアリマシテモ、反感ドコロデナク喜ンデ承リマスカラ、虚心坦懷ニ御腹藏ナク御述べ下サルコトヲ希望致シマス。

○五十一番(大橋委員) モウ只今、大臣ヨリ精細ニ御答辯ニナリ、當局ガ、當局ノ調べタ豫算案ヲ以テ實行シ得ルモノト云フ御確信デ御遂行ニナリマス以上ハ、唯私ハ此際ニ一言ダケ申上ゲテ置キマス、前内閣ニ於ケル、詰リ復興院計畫ノ責任ヲ御繼承ニナリマシテ、ソレヲ責任ヲ御持チニナツテ御實行ニナル上ニ甚ダ御困難ナルコトガ多カラウト云フコトヲ御推察申上グルニ止メマ

ス、尙ホ先刻私ガ、熱誠ノ餘リ申上ゲタ言葉ガ、甚ダ禮ヲ缺キマシタコトガアリマシタナラバ、是ハ野人禮ニ習ハザルモノデアリマスカラ御赦シアランコトヲ願ヒマス。

○四十三番(永田委員) モウ大臣カラ申サレタコトデ分ツテ居ルト思ヒマスガ、私モ簡單ニ申上ゲテ置キマス、此補償價格ノコトニ付キマシテ、大橋君ガ非常ニ心配サレテ私共ヘモ度々御出デニナツテ色々御話ガアツタノデアリマス、是ハ現在市中ニ行ハレテ居ル賣買ヨリモ確ニ多少安イト考ヘマス、併シ東京市ガ電氣事業ヲ經營シテ土地ヲ買收シマスル時分ニハ、イツモ其當時ノ市中ノ價格ヨリハ多少安イ、サウ云フヤウナ程度ニ於テ、今度復興局ニ於テ組マレテ居ル豫算ハ凡ソ其程度ニ出來テ居リマスカラシテ、従前ノ經驗ニ徴スルト、ドウニカ折合ガ付クダラウト私ハ思ツテ居リマス、尙ホ此價格ノ點ニ付テハ、私ハ考ヘヤウニ依ツテ違フト思フ、餘程又大局カラノ考ヘ方ガアルト思フ、吾々ハ大震災ノアツタ後デ、東京市ノ土地ノ價格ト云フモノハ一體二分ノ一位ニ減シヤシナイカ、三分ノ一位ニ減シヤシナイカト云フコトヲ虞レテ居ツタ、然ルニ國ガ巨額ノ金ヲ投ジテ復興事業ヲヤル、帝都ハ斯ウ云フ事ノ爲ニ其位置ヲ失フモノデナイト云フ勅語ヲ拜スルト云フヤウナコトニナリマシタ爲ニ、サウ云フ事ノ爲ニ幸ニシテ東京市ガ何等其價格ヲ落スコトナクシテ、却ツテ所ニ依ツテハ高クナツテ居ル、震災前ヨリハ高クナツタ所モアルト云フ

ヤウナ狀況ヲ呈シテ居ルガ爲ニ、市民ノ一人タル大橋君ヨリ、此價格デハマダ安イト云フヤウナ、猛烈ナル熱心ナル御話ガ出ルノハ、私ハ市長トシテ、是ハ東京市ノ爲ニ非常ニ芽出タイ事デアルト思フ、若シソレヲ反對ニ、半値デモ宜イカラ買ツテ呉レト言フヤウナコトデアツタナラバドウカト云フ事ヲ考ヘマスルト、實ニ是ハ芽出タイコトデアルト思フ、大橋君カラ其御小言ヲ聞クコトヲ實ハ東京市ノ爲ニ心密ニ喜ンダ次第デアリマス、次ニ區劃整理ノ問題ニ付キマシテハ、是ハコンナ面倒ナ仕事ヲヤランデ済ムコトナラ、出來ルナラバ避ケタイ、併シ今度ノヤウナ百億近クノ損失ヲ招イタ所ノ苦イ經驗ヲ前ニシテ、其復興ニ付テ東京市ガ第一ニ何ヲヤラナケレバナラヌカト言フト、第一ニ此區劃整理ノ問題デアラウト思フ、殊ニ今日ノ豫算其他ノ關係カラ考ヘテ、最早東京市民ノ歩ムベキ途ハ此區劃整理以外ニ殘サレテ居ラヌ、他ノ途ヲ擇ブ餘裕ガアレバナ考ヘル餘地ガアリマセウガ、是レ以外ニ東京市民ノ進ムベキ途ガ殘サレテ居ナイ、ソレデ如何ナル困難ガアラウトモ之ヲ排シテヤラウト云フ考ヲ私個人トシテ持ツテ居ツタノデアリマスガ、是ハ私獨リトシテハ何等權威ノ無イモノデアル、ソレデ昨年十二月二十五日ノ市會ノ時ニ、此意見ヲ市會デ申述べマシタ所ガ、非常ニ各市會議員ノ諸君ノ贊同ヲ得テ、更ニ一月二十一日ノ市會ニ於テ滿場一致ヲ以テ區劃整理ヲ遂行スルコトヲ決定シタノデアリマス、恐ラクハ此計畫ニ付テ

ハ幾多ノ困難ノアルコトヲ吾々ハ豫期シマスケレドモ、是ハ必ズヤ東京市民ノ諒解ヲ得テ、此困難ニ吾々ハ打勝ツテ遂行スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、此點ニ付テハ大橋君モ、非常ニ熱心ナル區劃整理論者デアラレルノデアリマスカラ、隨ツテ大橋君モ、ドウカ市民ノ一員トシテ共ニヤツテ賞フヤウニ御願ヒシテ置キマス。

(「採決」ト呼フ者アリ)

○二番(渡邊委員) 先程質問ヲ致シマシテ意見ハ殘シテ置キマシタ、尙ホ路線ニ就テ一々申セバ意見ハ無いノデハナイノデスガ、大變ニ御採決ヲ御急ギノヤウデアリマス、併シ斯ル際ニ申シタイコトヲ申サナイノモ大變一方カラ申スト不忠實ノヤウニ見エマスケレドモ、併シ今日ハ時間ガ遅クナリマシタカラ、唯一ツ丈ケ先程質問ヲ申シマシタ點ニ付テ意見ヲ申述ベヤウト思ヒマス、ソレハ横町線ノコトデアリマスガ、ソレハ先程當局ノ御説明ヲ承リマスルト云フト、數寄屋橋カラモ桶町カラモ東京驛ノ四十間道路ニ聯絡スルト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、然ラバ横町線ハ東京驛ヨリ降リルニハ自動車ニ乗ル人計リノ外大シタ交通ハナイト思フノデアリマスガ、吳服橋鍛冶町線以上ノ路幅ハ此處ニ要ルマイト思フノデアリマス、即チ十八間デ良イト思フノデアリマスガ、段々御議論ノ末、特別委員會デハ二十四間ト云フコトニ認メラレタト云フコトデアリマ

ス、ソレデ私ハ茲ニ折衷ヲ致シマシテ、横町線ノ路幅ヲ二十間トスルト云フ修正意見ヲ提出致シタイト思フノデアリマス。

○十六番(小坂委員) 既ニ論議モ盡クサレタヤウデアリマスカラ、討論終結ノ動議ヲ提出致シマス。

○會長(水野内務大臣) 渡邊君ノ修正案ニハ御賛成ガアリマセヌカラ、議事規則ニ依リマシテ採決致シマス、其他別ニ御意見ガアリマセヌ又御質問モアリマセヌカラ採決致サウト思ヒマス、ソレデハ議第二號第三號、之ニ就テ採決致シマス、特別委員長ノ御修正ノ通り御意見ノナイ方ハ御舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 多數

○會長(水野内務大臣) 多數ト認メマス、ソレデハ本案ハ是デ確定致シマシタ、今日ハ是デ散會致シマス。

午後五時三十八分散會

都市計畫公告

# 都市計畫公告

左記東京都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年度割ヲ認可ス

記

第一 東京都市計畫街路ノ新設、改修及運河ノ新鑿、改修ノ件左ノ通定ム

## 街路ノ部

番號	路	幹線	線	延長(約)	幅員
一	品川町ヨリ本芝一丁目、芝口一丁目、木挽町、江戸橋、和泉橋、車坂町ヲ經テ、ノ輪町ニ至ル	線	(起終點及經過地)	一三、四七〇米	三三乃至四四米
	<small>品川町ヨリ本芝一丁目迄 芝口一丁目ヨリ車坂町迄 芝口一丁目ヨリノ輪町迄</small>			<small>三、三六〇 二、〇九〇 二、七三〇</small>	<small>三三 三三 三四</small>
二	九段坂下ヨリ南神保町、兩國橋ヲ經テ龜戸町ニ至ル	線		六、二〇〇	二七乃至三六
	<small>九段坂下ヨリ南神保町迄 南神保町ヨリ兩國橋西詰迄 兩國橋西詰ヨリ龜戸町迄</small>			<small>二、五六〇 二、七〇〇 二、九三〇</small>	<small>三三 三三 二七</small>
三	吳服橋外ヨリ永代橋、澤海橋ヲ經テ砂町ニ至ル	線		五、二五五	三三

都市計畫公告

四六五

都市計畫公告

四 有樂町一丁目ヨリ尾張町、木挽町三丁目、築地三丁目ヲ經テ月島二號地ニ至ル(隅田川ヲ含マズ)

内(有樂町一丁目ヨリ木挽町三丁目迄  
木挽町三丁目ヨリ築地三丁目迄  
築地三丁目ヨリ月島二號地迄)

二、二七〇 二七乃至三六  
八七〇  
四二〇〇  
九八〇〇 三三六  
二七

四六六

五 築地三丁目ヨリ入船町、龜島町、濱町三丁目、淺草橋、南元町、北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル

六 上野公園前ヨリ駒形町ヲ經テ押上町ニ至ル

七 東京驛東口ヨリ下槇町、龜島橋ヲ經テ越前堀一丁目ニ至ル

内(東京驛東口ヨリ下槇町迄  
下槇町ヨリ龜島町西詰迄  
龜島町西詰ヨリ越前堀一丁目迄)

八、〇四八 三三  
三、六四〇 三三  
一、一一〇 二二乃至四四

八 永樂町一丁目濠端ヨリ元千代田町ニ至ル

九 櫻田門外ヨリ新議事堂前ニ至ル

一〇 相生橋南詰ヨリ和倉町、相生町ヲ經テ中ノ郷竹町ニ至ル

内(相生橋南詰ヨリ和倉町迄  
和倉町ヨリ中ノ郷竹町迄)

五、〇五〇 二五乃至三三  
一、二五〇 三三  
三、八〇〇 二五

一一 東京驛北口錢瓶町ヨリ新常盤橋、小傳馬町一丁目ヲ經テ淺草橋ニ至ル

一二 神田橋内ヨリ小川町、湯島四丁目、本郷一丁目ヲ經テ本郷三丁目ニ至ル

内(神田橋内ヨリ小川町迄  
小川町ヨリ湯島四丁目迄  
湯島四丁目ヨリ本郷一丁目迄  
本郷一丁目ヨリ本郷三丁目迄)

一、五八〇 二七  
二、〇七五 二七乃至三三

一三 一ツ橋内ヨリ南神保町ヲ經テ壹岐殿坂下ニ至ル

一四 大手町一丁目ヨリ一ツ橋内雉子橋ヲ經テ飯田橋北詰ニ至ル

内(大手町一丁目ヨリ一ツ橋迄  
一ツ橋内ヨリ飯田橋北詰迄)

一、六七〇 二七  
二、六〇五 二七乃至三六

一五 虎ノ門ヨリ西久保神谷町ニ至ル

一六 櫻田本郷町ヨリ芝公園ニ至ル

一七 鍛冶橋外ヨリ柳町、彈正橋、高橋ヲ經テ永代橋西詰ニ至ル

内(鍛冶橋ヨリ柳町迄  
柳町ヨリ永代橋西詰迄)

一、七一一 二二乃至三三  
一、四三六 三三  
一、二八二 三三

都市計畫公告

四六七

都市計畫公告

一八	芝口一丁目ヨリ虎ノ門ヲ經テ赤坂見附ニ至ル	二、七四五	四六八	三三
一九	雉子橋外ヨリ鎌倉河岸、城邊河岸ヲ經テ新橋驛ニ至ル	四、〇六四		二七
二〇	富士見町一丁目ヨリ市ヶ谷見附ニ至ル	九三〇		二七
二一	九段坂下ヨリ富士見町一丁目、半藏門前ヲ經テ新議事堂前ニ至ル	二、五四〇		二七
二二	湯島四丁目ヨリ二長町、御藏前片町、法恩寺橋ヲ經テ龜戸町ニ至ル	五、四八〇	二二乃至二七	
	<small>内(湯島四丁目ヨリ御藏前片町迄 譯(御藏前片町ヨリ龜戸町迄)</small>	二、一八〇 三、三〇〇		二七
二三	淺草區田町二丁目ヨリ金杉下町ニ至ル	七八二		二二
二四	横網町一丁目ヨリ兩國驛ニ至ル	一六三		三三
二五	木挽町九丁目ヨリ築地四丁目ニ至ル	二〇〇		二七
二六	南元町ヨリ厩橋通黒船町ニ至ル	三六三		二七
二七	福住町ヨリ扇町ヲ經テ砂町ニ至ル	三、一六三		二二

二八	濱町三丁目ヨリ中洲町、東扇橋町ヲ經テ砂町ニ至ル	四、〇七二		二二
二九	濱町三丁目ヨリ新大橋、徳右衛門町、菊川橋ヲ經テ大島町ニ至ル	三、二二〇	二二乃至二七	
	<small>内(濱町三丁目ヨリ徳右衛門町迄 譯(徳右衛門町ヨリ大島町迄)</small>	一、四三八 一、七八二		二七 三三
三〇	中ノ郷元町ヨリ寺島町ニ至ル	一、九二〇		二二
三一	山ノ宿町ヨリ今戸橋北詰ニ至ル	三八五		二二
三二	淺草區材木町ヨリ吉野橋ヲ經テ南千住町常磐線踏切ニ至ル	二、六五五	二二乃至二五	
	<small>内(淺草區材木町ヨリ吉野橋南詰迄 譯(吉野橋南詰ヨリ常磐線踏切迄)</small>	一、二五五 一、四〇〇		二五 二二
三三	大手町一丁目ヨリ北鞘町、荒布橋、濱町一丁目ヲ經テ兩國橋西詰ニ至ル	二、九八〇		二二
三四	龍閑橋北詰ヨリ紺屋町、美倉橋、竹町ヲ經テ入谷町ニ至ル	三、九六〇		二二
三五	道三町ヨリ鎌倉河岸、昌平橋、天神町二丁目ヲ經テ池ノ端七軒町ニ至ル	三、五〇〇		二二

都市計畫公告

都市計畫公告

三六	今入町ヨリ愛宕町ヲ經テ赤羽橋南詰ニ至ル	一、九三〇	二三
三七	三ノ輪町ヨリ白鬚橋西詰ニ至ル	一、六三七	二三
三八	入谷町ヨリ山ノ宿町、淺草驛前ヲ經テ中ノ郷業平町ニ至ル	二、八三六	二三
三九	荒布橋東詰ヨリ思案橋ヲ經テ小網町四丁目ニ至ル	三八〇	二三
四〇	西久保神谷町ヨリ宇田川町ニ至ル	九一〇	二三
四一	西小川町ヨリ三崎町三丁目ヲ經テ陸軍造兵廠前ニ至ル	五八〇	二三
四二	永田町二丁目赤坂見附内	一九〇	二七
四三	溜池町ヨリ田町七丁目ニ至ル	一八〇	二七
四四	壹鼓殿坂下ヨリ本郷一丁目ニ至ル	五八〇	二七
四五	東黒門町ヨリ上野廣小路町ニ至ル	一四五	三六
四六	須田町ヨリ萬世橋南詰ニ至ル	一一〇	三六
四七	木場町ヨリ平久町ニ至ル	八〇	二二
四八	芝公園増上寺門前ヨリ濱松町一丁目ニ至ル	六一一	二七

四七〇

四九	雉子橋内ヨリ美土代町二丁目ヲ經テ豊島町ニ至ル	一、八四五	二三
五〇	村松町ヨリ豊島町ニ至ル	五七三	二三
五一	湯島天神町三丁目ヨリ厩橋ヲ經テ押上町ニ至ル	三、八七七	二三
五二	池ノ端仲町地内	三〇〇	二三
五三	越中島町ヨリ濱園町ニ至ル	一、〇二五	二三

番號	路	線	(起終點及經過地)	延長(約)	幅員
一	今戶橋北詰ヨリ橋場町ヲ經テ南千住町地方橋場ニ至ル			一、五二〇米	一一乃至一五米

二	土州橋東詰ヨリ龜島橋東詰ニ至ル			一、一七五 三四五	一一五
三	靈巖町ヨリ石島町ヲ經テ砂町ニ至ル			八三七	一八
四	小梅町ヨリ寺島町ニ至ル			二、一九一	一一
五	押上町ヨリ四ノ橋ヲ經テ東平井町ニ至ル			一、三六五 四、二三六	一八 二二

都市計畫公告

四七一



都市計畫公告

六	光月町ヨリ龍泉寺町ニ至ル	九二五	一六
七	富士見町一丁目ヨリ隼町ニ至ル	一、六四〇	一六
八	元衛町ヨリ御茶ノ水橋ヲ經テ春木町二丁目ニ至ル	二、〇七三	二二
九	北鞘町ヨリ矢ノ倉町ニ至ル	一、六六七	一六
一〇	南千住町千東ヨリ同町地方橋場ニ至ル	七九二	一一
一一	小梅業平町ヨリ木場町ニ至ル	四、三三八	二二
一二	愛宕下町一丁目ヨリ葵町ニ至ル	一、一四三	一五
一三	愛宕下町四丁目ヨリ將監橋南詰ニ至ル	八〇三	一五
一四	露月町ヨリ櫻川町ニ至ル	九四六	一五
一五	千束町一丁目地内	一四五	一五
一六	内幸町ヨリ櫻田本郷町ニ至ル	二〇六	一五
一七	有樂町一丁目ヨリ西紺屋町ニ至ル	四五五	一五
一八	豊玉橋西詰ヨリ明石町ニ至ル	一、一四七	一五
一九	紀ノ國橋西詰ヨリ入船町六丁目ニ至ル	七四六	一五

二〇	銀座一丁目ヨリ新湊町一丁目ニ至ル	一、〇五九	一五
二一	桶町ヨリ長澤町ニ至ル	八七〇	一五
二二	三十間堀三丁目ヨリ築地四丁目ニ至ル	四〇〇	一五
二三	三十間堀二丁目ヨリ築地三丁目ニ至ル	五七一	一五
二四	明石町ヨリ築地四丁目ニ至ル	五八六	一五
二五	明石町ヨリ本八丁堀五丁目ニ至ル	九二八	一五
二六	東湊町一丁目ヨリ新船松町ニ至ル	三五五	一八
二七	數寄屋町ヨリ川口町ニ至ル	一、〇四三	一五
二八	小網仲町ヨリ濱町二丁目ニ至ル	九三四	一五
二九	猿樂町一丁目ヨリ猿樂町三丁目ニ至ル	六七三	一五
三〇	坂本裏町ヨリ聖天町ニ至ル	一、九四七	一五
三一	金杉上町ヨリ龍泉寺町ニ至ル(甲)	九一	一五
三二	金杉上町ヨリ龍泉寺町ニ至ル(乙)	一二四	一五
三三	入谷町ヨリ馬喰町四丁目ニ至ル	二、八七九	一五

都市計畫公告

都市計畫公告

三四	向柳原町一丁目ヨリ旅籠町二丁目ニ至ル	八五五	一五
三五	馬道町一丁目ヨリ黒船町ニ至ル	八三七	一五
三六	花川戸町ヨリ淺草區田町二丁目ニ至ル	一、三二四	二二
三七	今戸町ヨリ橋場町ヲ經テ南十住町地方橋場ニ至ル	一、七〇七	二二
	<small>内今戸町ヨリ橋場町迄 橋場町ヨリ地方橋場迄</small>	一、二二五 四八二	二二
三八	地方今戸町ヨリ橋場町ニ至ル	一、〇一九	二五
三九	龜岡町三丁目ヨリ橋場町ニ至ル	二三七	二五
四〇	元町ヨリ清住町ニ至ル	一、四〇〇	二五
四一	中ノ郷瓦町ヨリ越中島町ニ至ル	五、四一五	二五
四二	中ノ郷業平町ヨリ本所驛脇ヲ經テ洲崎ニ至ル	四、四三七	二五
四三	向島須崎町ヨリ向島押上町ニ至ル	八七四	二五
四四	西元町ヨリ大島町ニ至ル	二、八七六	二五
四五	砂町八右衛門新田地内	五二七	二五
四六	古石場町ヨリ鹽濱町ニ至ル	一八九	二五
四七	柴井町ヨリ愛宕町一丁目ニ至ル	六九二	二一

四七四

四八	烏森町ヨリ源助町ニ至ル	三六四	二一
四九	神明町ヨリ芝公園五號地ニ至ル	五二八	二一
五〇	新網町北側ヨリ芝公園十二號地ニ至ル	六一九	二一
五一	港町ヨリ芝公園十五號地ニ至ル	六〇一	二一
五二	新櫻田町ヨリ愛宕町二丁目ニ至ル	六五一	二一
五三	烏森町ヨリ宇田川横町ニ至ル	八四八	二一
五四	新榮町五丁目ヨリ日比谷町ニ至ル	五四六	二一
五五	川口町ヨリ銀座一丁目ニ至ル	二二八	二一
五六	采女町ヨリ白魚橋ニ至ル	七四六	二一
五七	新湊町三丁目ヨリ隅田川右岸ニ至ル	一五一	二一
五八	柳町ヨリ淺草橋南詰ニ至ル	一、二一八	一五
五九	芳町ヨリ箱崎町二丁目ニ至ル	七〇一	一一
六〇	東龍閑町ヨリ蠣殻町三丁目ニ至ル	六八七	一一
六一	小網町三丁目ヨリ濱町三丁目ニ至ル	七八八	一一

都市計畫公告

四七五

都市計畫公告

六二	錦町二丁目ヨリ新銀町ニ至ル	四一三	一
六三	錦町三丁目ヨリ通神保町ニ至ル	三一三	一
六四	西小川町一丁目ヨリ三崎町一丁目ニ至ル	三〇八	一
六五	西小川町一丁目ヨリ表猿樂町ニ至ル	三七五	一
六六	淡路町二丁目ヨリ三崎町一丁目ニ至ル	一、一四一	一
六七	松富町ヨリ花田町ニ至ル	三四二	一
六八	一番町ヨリ中六番町ニ至ル	六八四	一
六九	五番町ヨリ元園町二丁目ニ至ル	八三九	一
七〇	龍泉寺町ヨリ三之輪ニ至ル	八九七	一
七一	金杉上町ヨリ揚屋町ニ至ル	五二八	一
七二	金杉上町ヨリ淺草町ニ至ル	一、五六九	一
七三	萬年町二丁目ヨリ新谷町ニ至ル	九四六	一
七四	下車坂町ヨリ花川戸町ニ至ル	一、六七八	一
七五	上車坂町ヨリ松清町ニ至ル	一、二七〇	一

四七六

七六	千束町一丁目ヨリ金龍山瓦町ニ至ル	一、〇九二	一
七七	馬道五丁目ヨリ山ノ宿町ニ至ル	一九三	一
七八	象潟町ヨリ千束町三丁目ニ至ル	四七三	一
七九	千束町三丁目ヨリ淺草區田町一丁目ヲ經テ今戸町ニ至ル	八三三	一

内千束町三丁目ヨリ田町一丁目迄  
譯田町一丁目ヨリ今戸町迄

八〇	吉野町ヨリ南千住町地方橋場ニ至ル	八五五	一
八一	山谷町ヨリ三之輪ニ至ル	九五〇	一
八二	千束町二丁目ヨリ龜岡町三丁目ニ至ル	一、二七六	一
八三	千束町一丁目ヨリ北富坂町ニ至ル	一、六二五	一
八四	金杉上町ヨリ元鳥越町ニ至ル	二、三一一	一
八五	神吉町ヨリ二長町ニ至ル	一、七五三	一
八六	車坂町ヨリ御徒町二丁目ニ至ル	六七七	一
八七	御徒町一丁目地内	五六八	一

都市計畫公告

四七七

- 八八 元鳥越町ヨリ上平右衛門町ニ至ル
- 八九 永堀町ヨリ深川區大島町ニ至ル
- 九〇 御徒町一丁目ヨリ須賀町ニ至ル
- 九一 弓町一丁目ヨリ下谷區竹町ニ至ル
- 九二 西鳥越町ヨリ森田町ニ至ル
- 九三 湯島天神町一丁目ヨリ下谷區竹町ニ至ル
- 九四 小島町ヨリ北富坂町ニ至ル
- 九五 上野廣小路町ヨリ永住町ニ至ル
- 九六 七軒町ヨリ諏訪町ニ至ル
- 九七 湯島四丁目ヨリ湯島梅園町ニ至ル
- 九八 湯島五丁目ヨリ湯島切通坂町ニ至ル
- 九九 清住町ヨリ深川區大島町ニ至ル
- 一〇〇 三ノ輪町ヨリ三河島町ニ至ル
- 一〇一 日暮里町金杉地内

- 五九七
- 八六七
- 一、〇八一
- 二、〇七五
- 四七八
- 一、二四一
- 五二二
- 一、〇三二
- 八五五
- 六三七
- 四四〇
- 一、四六五
- 三九一
- 五〇二

- 一〇二 中ノ郷瓦町地内
- 一〇三 原庭町ヨリ柳島元町ニ至ル
- 一〇四 外手町ヨリ柳島横川町ニ至ル
- 一〇五 横網町二丁目ヨリ太平町二丁目ニ至ル
- 一〇六 元町ヨリ龜戸町ニ至ル
- 一〇七 相生町ヨリ西六軒堀町ニ至ル
- 一〇八 中ノ郷竹町ヨリ荒井町ヲ經テ數矢町ニ至ル  
内中ノ郷竹町ヨリ荒井町迄  
露荒井町ヨリ數矢町迄
- 一〇九 小梅業平町ヨリ茂森町ニ至ル
- 一一〇 中ノ郷業平町ヨリ太平町二丁目ニ至ル
- 一一一 押上町ヨリ太平町二丁目ニ至ル
- 一一二 押上町ヨリ柳島町ニ至ル
- 一一三 柳島横川町ヨリ龜戸町ニ至ル
- 一一四 佐賀町一丁目ヨリ龜住町ニ至ル

- 一八二
- 一、六七八
- 一、九五七
- 一、九二九
- 二、六三九
- 六九二
- 三、八七七
- 三、四四九
- 三、四二八
- 三、六四〇
- 一、〇四八
- 一、〇四八
- 七六四
- 六二四
- 六一二

一一五	安宅町ヨリ徳右衛門町ニ至ル	一、〇三四	一一
一一六	徳右衛門町ヨリ深川區本村町ニ至ル	一、一六五	一一
一一七	柳原町ヨリ豊住町ニ至ル	二、一三九	一一
一一八	猿江裏町ヨリ大島町ニ至ル	六三七	一一
一一九	靈巖町ヨリ山本町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、三四八	一一
一二〇	和倉町ヨリ西平井町ニ至ル	一、三七二	一一
一二一	富岡門前町ヨリ越中島町ニ至ル	六四二	一一
一二二	深川區大島町ヨリ平久町二丁目ニ至ル	一、〇七四	一一

運河ノ部

新鑿

番號	名稱	區域	延長(約)	幅員	深度(零點下)
一	築地川楓川連絡	金六町地先櫻川ヨリ木挽町一丁目地先築地川ニ至ル	二九〇米	三三米	一、八米

改修

番號	名稱	區域	延長(約)	幅員	深度(零點下)
一	小名木川	上大島町地先横十間川ヨリ新安宅町地先隅田川ニ至ル	二、四六〇米	五五米	二、一米
二	横十間川	柳島元町地先北十間川ヨリ豊住町地先十間川ニ至ル	三、六七〇	四〇	一、八
三	大島川	木場町地先大横川ヨリ諸町地先隅田川ニ至ル	一、九二〇	四〇	一、八
四	神田川	柳原河岸地先ヨリ新柳町地先隅田川ニ至ル	一、四二〇	四七	一、八
五	日本橋川	富島町地先龜島川ヨリ大川端町地先隅田川ニ至ル	四七〇	四七	一、八
六	楓川	本材河岸地先日本橋川ヨリ柳町地先櫻川ニ至ル	一、二二〇	三三	一、八
七	櫻川	金六町地先京橋川ヨリ港河岸地先龜島川ニ至ル	七五〇	三三	一、八
八	京橋川	北紺屋町地先外濠ヨリ金六町地先櫻川ニ至ル	六〇〇	三三	一、八
九	築地川	木挽町八丁目地先ヨリ築地四丁目地先海ニ至ル	五五〇	四七	一、八
一〇	築地川	木挽町一丁目地先ヨリ木挽町八丁目地先ニ至ル	一、一三〇	三三	一、八

一一 沙 留 川 木挽町七丁目地先三十間堀  
 川ヨリ木挽町八丁目地先築  
 地川ニ至ル 四〇〇 三三二 一、八

第二 前項ノ計畫中幹線街路(第三號路線ノ内第五號路線接合點以東及第三〇號路線ノ内環狀線交叉點以北ヲ除ク)ノ新設、改修及運河ノ新鑿、改修ハ都市計畫事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十七年度迄六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其年割左ノ通定ム

- 一、街路ノ新設、改修事業執行年割
- 大正十二年度 約一分七厘
  - 大正十三年度 約二割四分八厘
  - 大正十四年度 約二割五分一厘
  - 大正十五年度 約二割六厘
  - 大正十六年度 約一割六分九厘
  - 大正十七年度 約一割九厘
- 二、運河ノ新鑿、改修事業執行年割
- 大正十二年度 約一分三厘

大正十三年度 約二割一分一厘  
 大正十四年度 約二割八厘  
 大正十五年度 約二割  
 大正十六年度 約二割  
 大正十七年度 約一割六分八厘

第三 前項ノ事業ノ一部ハ其ノ年割ノ範圍内ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス

右公告ス

大正十三年三月十一日

内閣總理大臣 子爵 清 浦 奎 吾

左記横濱都市計畫並都市計畫事業及其ノ執行年度割ヲ認可ス

記

第一 横濱都市計畫街路ノ新設、改修ノ件左ノ通定ム

都市計畫公告

番號

路

線 (起終點及經過地)

延長(約)

幅員

四八四

一 子安町市郡界ヨリ神奈川町横濱驛前、西戸部町、久保町道上ヲ經テ保土ヶ谷町岩間ニ至ル

内 子安町市郡界ヨリ神奈川町十番町迄  
神奈川町七軒町ヨリ青木町七軒町迄  
青木町七軒町ヨリ横濱驛前迄  
横濱驛前ヨリ久保町道上迄  
久保町道上ヨリ保土ヶ谷町岩間迄

八、五〇一 米  
一八乃至三六 米

二 辨天橋東詰ヨリ本町四丁目ヲ經テ萬國橋南詰ニ至ル

内 本町四丁目ヨリ南吉田町南七丁目迄  
南吉田町南七丁目ヨリ大岡町高等工業學校前迄

四、五二〇 米  
二二乃至二五 米

三 本町四丁目ヨリ眞砂町、南吉田町、蒔田町ヲ經テ大岡町高等工業學校前ニ至ル

内 大岡町南七丁目ヨリ南吉田町南七丁目迄  
南吉田町南七丁目ヨリ大岡町高等工業學校前迄

四、七一〇 米  
二二乃至二五 米

四 大江橋南詰ヨリ尾上町、西ノ橋、北方町ヲ經テ本牧町原ニ至ル

内 大江橋南詰ヨリ西ノ橋北詰迄  
西ノ橋北詰ヨリ本牧町原迄

四、七一〇 米  
二二乃至二五 米

五 青木町七軒町ヨリ神奈川町ニツ谷ヲ經テ市郡界六角橋南詰ニ至ル

内 青木町七軒町ヨリ神奈川町ニツ谷迄  
ニツ谷ヨリ市郡界六角橋南詰迄

二、一八二 米  
二二 米

三、七三七 米  
一六乃至二二 米

七

西平沼町ヨリ伊勢町、日ノ出町、長者橋ヲ經テ千秋橋南詰ニ至ル

内 西平沼町ヨリ伊勢町迄  
伊勢町ヨリ日ノ出町迄  
日ノ出町ヨリ千秋橋南詰迄

二、六五〇 米  
一八乃至二二 米

八

井土ヶ谷町ヨリ大岡川村永田ヲ經テ保土ヶ谷町岩間ニ至ル

内 井土ヶ谷町地内  
井土ヶ谷町ヨリ大岡川村永田迄  
大岡川村永田ヨリ保土ヶ谷町岩間迄

一、六四五 米  
一六乃至二二 米

九

櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目ヲ經テ日ノ出町一丁目ニ至ル

五、四六 米  
一六 米

一〇

平沼橋南詰ヨリ横濱驛前ニ至ル

五、六七 米  
二二 米

一一

神奈川町十番町ヨリ東神奈川驛ニ至ル

二、二九 米  
二七 米

一二

平沼橋南詰ヨリ淺間町淺間下ニ至ル

七〇九 米  
二二 米

一三

日ノ出町一丁目ヨリ井戸ヶ谷町ニ至ル

二、六三六 米  
一六 米

都市計畫公告

一四 青木町七軒町ヨリ淺間町社宮司ニ至ル

内〔青木町七軒町地内〕  
〔青木町七軒町ヨリ淺間町社宮司迄〕

二、七六八

一八乃至二七

一五 高島町八丁目ヨリ西戸部町鹽田ニ至ル

一、五六四

一五

一六 子安町海道通ヨリ子安町神ノ木ニ至ル

一、三六四

一六

一七 車橋北詰ヨリ山元町ニ至ル

六〇〇

一八

一八 蒔田町六反田ヨリ井土ヶ谷町ニ至ル

八一八

一六

一九 千歳町二丁目ヨリ南吉田町南六ツ目ニ至ル

一、三八二

二〇

二〇 中村町西ノ谷ヨリ南太田町西中耕地ニ至ル

内〔中村町西ノ谷ヨリ南吉田町南六ツ目迄〕  
〔南吉田町南六ツ目ヨリ南太田町西中耕地迄〕

九四五

一六乃至二〇

六七三

二〇

二一 北方町小湊ヨリ新山下町ニ至ル

六三六

一八

第二 前項ノ計畫中第一號乃至第十二號ノ街路ノ新設、改修ハ都市計畫事業トシテ大正十二年度

ヨリ大正十七年度迄六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通定ム

街路ノ新設、改修事業執行年割

大正十二年度

約一分四厘

大正十三年度

約二割八分六厘

大正十四年度

約二割八分七厘

大正十五年度

約一割七分

大正十六年度

約一割四分五厘

大正十七年度

約九分八厘

第三 前項ノ事業ノ一部ハ其ノ年割ノ範圍内ニ於テ土地區劃整理事業トシテ之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス

右公告ス

大正十三年三月十一日

内閣總理大臣 子爵 清 浦 奎 吾

左記東京都市計畫事業ノ變更ヲ認可ス

記

大正十年五月十三日内閣認可東京都市計畫事業中左ノ通變更ス

東京都市計畫事業街路ノ部

都市計畫公告



一等大路第三類第十五 幅員十二間

前號路線終點ヨリ南千住町大字三河島ニ至リ鐵道線路下ヲ過キ市郡界ニ至ルノ路線

一等大路第三類第十七 幅員十二間

前號路線終點ヨリ北十間川福神橋ヲ經テ龜戸町ニ於テ鐵道線路城東電車線路ヲ横切り五ノ橋及新開橋ヲ經テ砂町大字平井新田字南元ノ耕地六百二十八番地地先ニ至ルノ路線

二等大路第一類第十四 幅員十間

寺島町大字寺島千四百五十六番地地先ヨリ曳舟川ニ沿ヒ新荒川堤防ニ至ルノ路線

二等大路第二類第十五 幅員八間

下谷區金杉上町五十九番地ノ一地先電車通ヨリ下根岸町ヲ經テ日暮里町大字金杉九百七十三番地ニ至ルノ路線

二等大路第二類第三十 幅員八間(車道歩道ヲ區別セス)

大島町四丁目百八十七番地地先ヨリ同五丁目ヲ經テ同八丁目二百十四番地ニ至ルノ路線

二等大路第二類第三十三 幅員八間(車道歩道ヲ區別セス)

砂町久左衛門新田字小名木川附近四十二番地ノ二〇地先ヨリ同治兵衛新田、龜高、荻新田ヲ

經テ同町又兵衛新田百三十一番地ニ至ルノ路線  
左ノ路線ヲ削ル

廣路第一

一等大路第二類第一

一等大路第二類第二

一等大路第三類第一

一等大路第三類第五

一等大路第三類第六

二等大路第一類第一

二等大路第一類第二

二等大路第一類第八

二等大路第二類第二

二等大路第二類第三

二等大路第二類第四

都市計畫公告

- 二等大路第二類第五
- 二等大路第二類第六
- 二等大路第二類第十六
- 二等大路第二類第十七
- 二等大路第二類第十八
- 二等大路第二類第二十九
- 二等大路第三類第十一
- 二等大路第三類第十二
- 二等大路第三類第十三
- 二等大路第三類第十四
- 二等大路第三類第十五

東京都市計畫事業河川、運河ノ部

左ノ河川、運河ヲ削ル

新 鑿

四等第二類第一大島川

改 修

三等第二類第一小名木川

四等第三類第一入船川

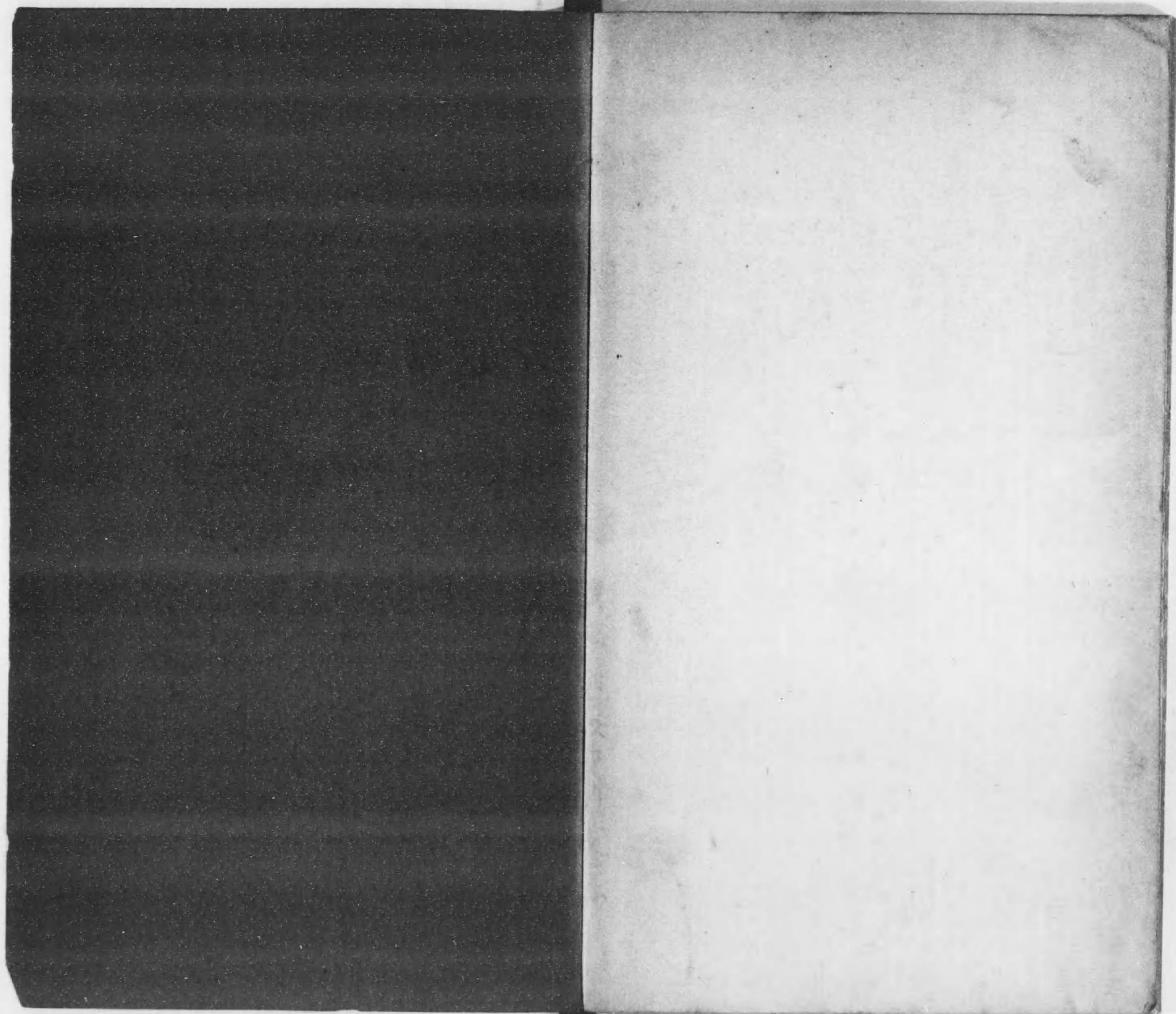
埋 立

第二 大島川

右公告ス

大正十三年三月十一日

内閣總理大臣 子爵 清 浦 奎 吾



576  
101

終